

67-535



1200501281768

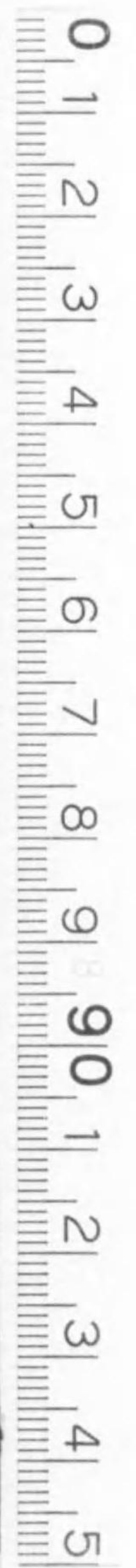
67

535

森林試驗要錄

昭和二十二年八月

朝鮮總督府森林試驗場





錄要驗試業林

場驗試業林府督總鮮朝



發行所寄贈本

序

本場は大正十一年八月官制發布せられ京城府外清涼里(現在京城府清涼里町)に地をトして廳舎其の他の設備を整へ開廳せられ本年は其の十五周年に相當す其の間諸機關の充實を圖り林業の振興學術の進歩に裨益する所尠からず此處に現在の試験施設其の他設備の一端を収録して刊行することゝせり

昭和十二年八月

朝鮮總督府林業試験場

沿革

朝鮮に於ける林業に關する試験は大正二年農商工部山林課に一名の囑託を置き森林植物の調査を開始し及二名の雇員を置きて京城府外懿寧園及抱川郡蘇屹面光陵に苗圃を設け普通業務の傍ら養苗植栽の試験に着手したるときを以て嚆矢となす、爾後此の状態の繼續したりしか大正九年に殖産局山林課に臨時職員技師二名技手四名屬一名を置き大正十年に技師、技手各一名を増し林業各種の調査及試験に従事せしむると同時に地を京城府外清涼里に卜して廳舎、作業場苗圃、樹木園等の設備に着手し大正十一年には技師一名技手十一名を増して技師四名技手、屬十七名となし林業試験場費十四萬八千圓を要求して議會の協賛を経同年八月二十三日を以て朝鮮總督府林業試験場官制の發布を見るに至れるものなり。

其の後大正十四年に試植地設置事業試験の爲技師一技手一を、同十五年には同事業の爲技手三を、害蟲害菌驅除豫防試験の爲技手一を、昭和二年には屬一を、同四年には試験林の經營として簡易造林試験、林相改良試験其の他の爲に技師一、技手一を同十一年には林産樹實類の増産其の他の試験の爲技師一技手一を各増員せられたるも大正十三年及昭和七年の兩度の行財政整理に依り技師一、技手七を減員せられ現在技師六屬二、技手十六となり今日に至る。

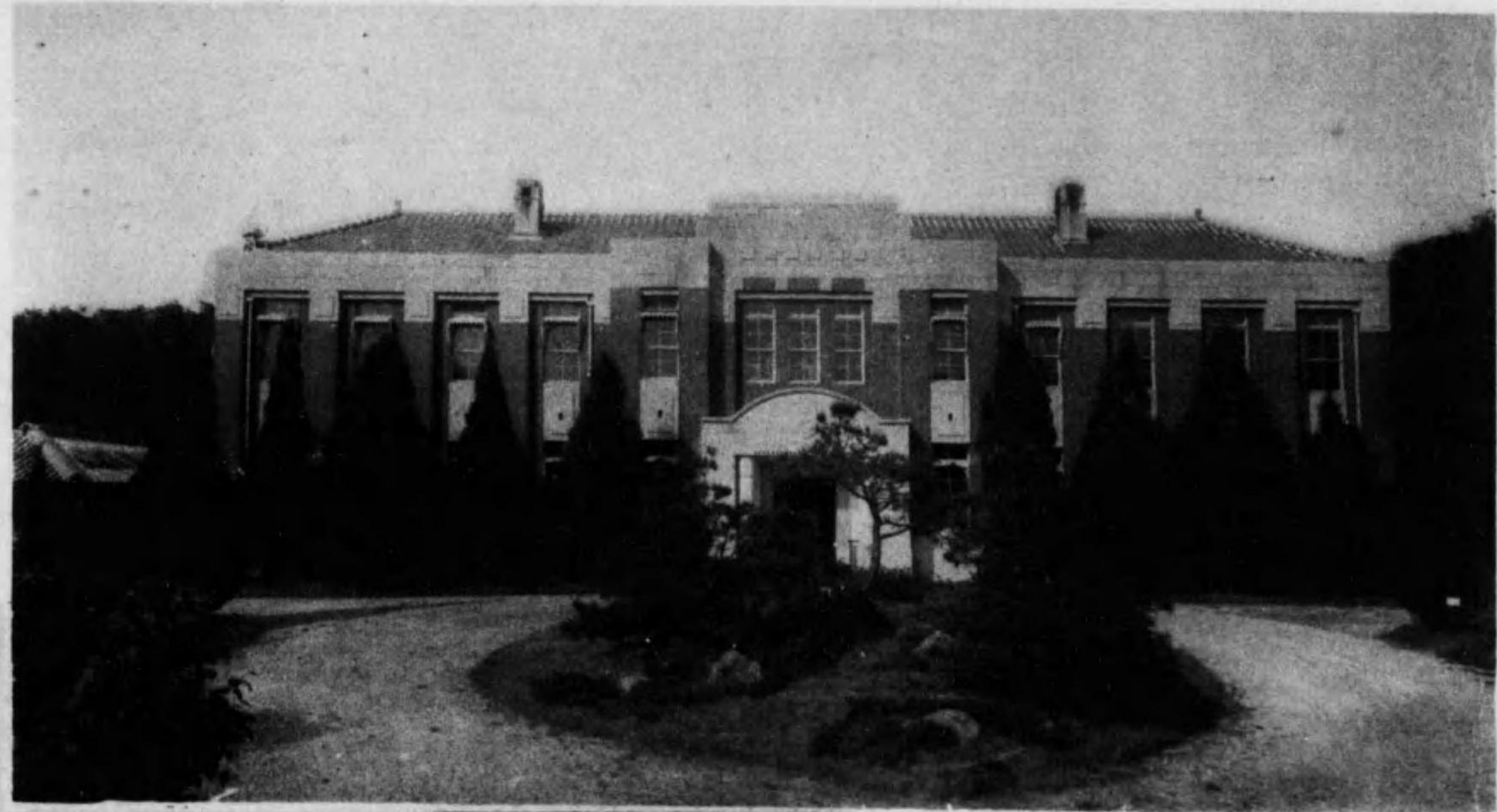
光陵試験林は楊州抱川の兩郡に誇り現在面積二千二百五町歩餘にして大正元年十一月其の一部を開墾して翌年四月試験苗圃と光陵林業試験地とを設け京城林業試験地と共に本府山林課の所屬として朝鮮總督府林業試験地と稱せり次て大正三年七月又苗圃を増設して雇員一名を置き養苗造林等の試験を開始せり、然るに大正十一年八月林業試験場の設置せらるゝや之等試験の一切を林業試験場に移し尙大正十三年六月本試験林並に附屬建物等の全部を本府より試験場に移管せられたり、是より漸次試験を擴大し同年七月新に技手一名を置き尙試験林の移管と同時に別に楊州郡榛接面長峴里に林業試験場保護員駐在所を設け之に技手一名、保護員三名を駐在せしめ林地の保護取締に従事せしむ次て昭和四年六月林業試験場光陵出張所を設置せられ造林、利用、施業等林業の各般に互り大規模の試験計畫を樹て秩序ある試験を行ひ尙各種試験中林地使用を要するものは主として當試験林に施設實行中なり。



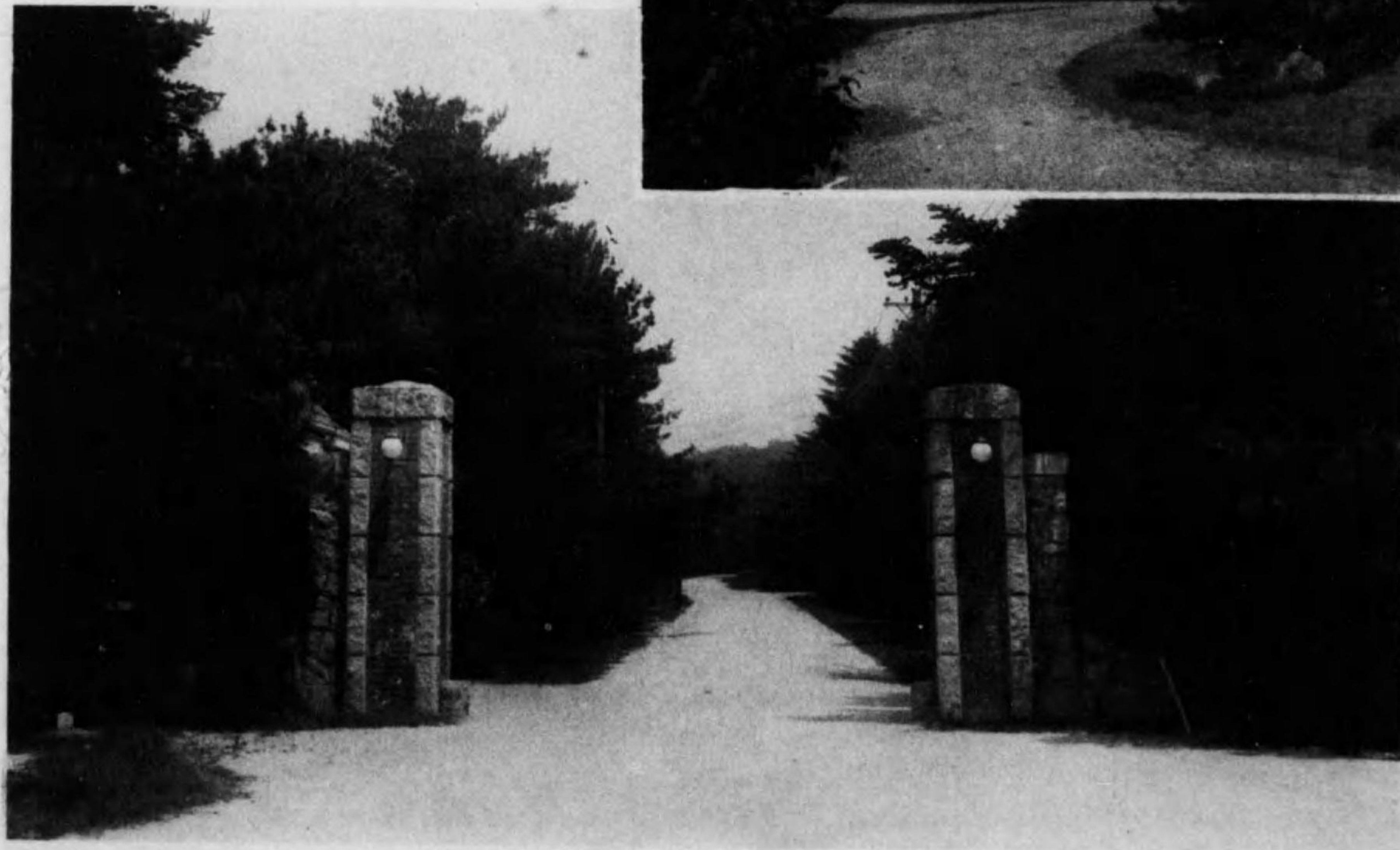
長場驗試業林府督總鮮朝
二 德 木 鏞



長場驗試業林府督總鮮朝前
郎 次 又 澤 戶



◇ 舍廳場驗試業林 ◇



◆ 門 正 ◆

◁ 所務事出張光陵 ▷



◻ 光陵試験林 ◻



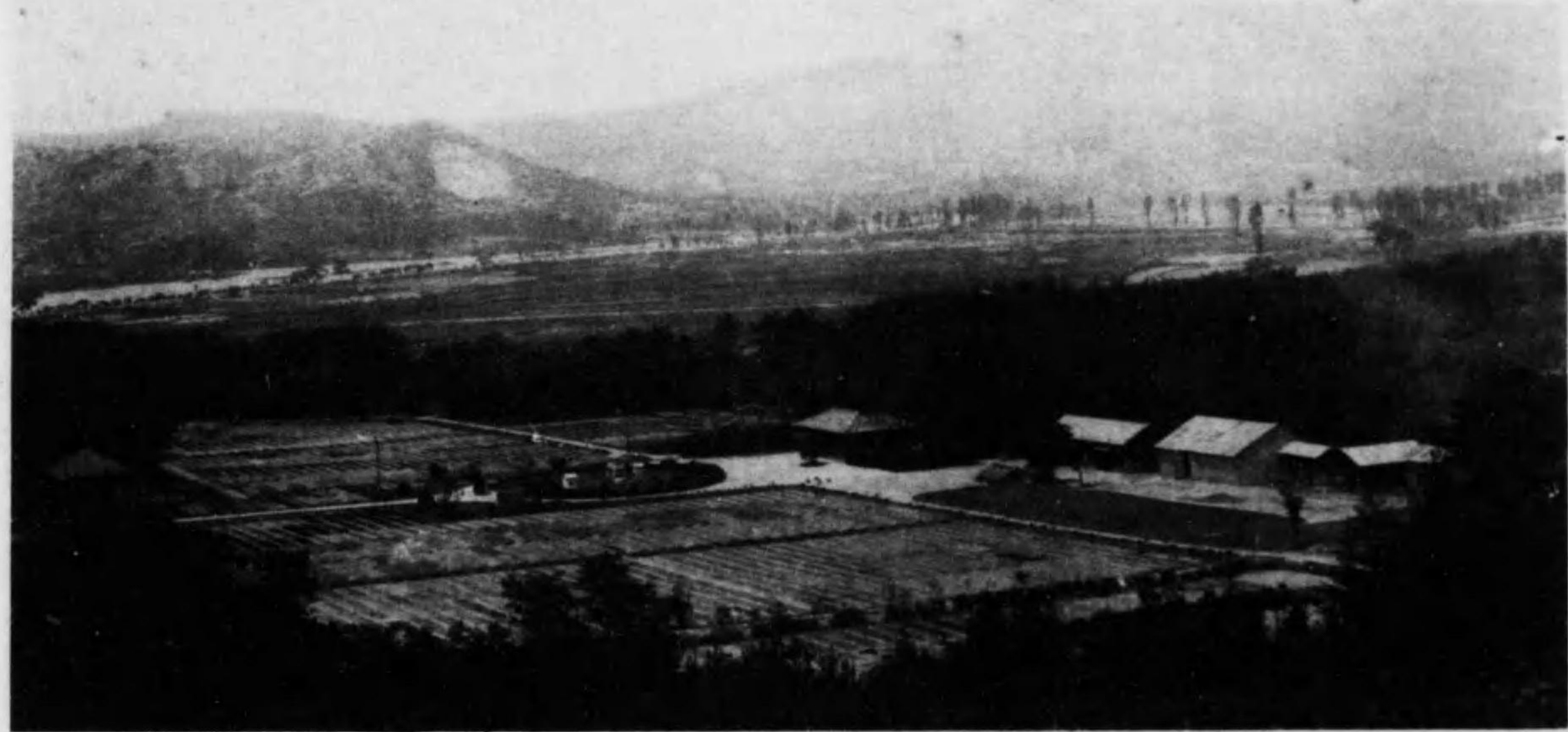


十 (點餘百五千在現) 部一の木標 十

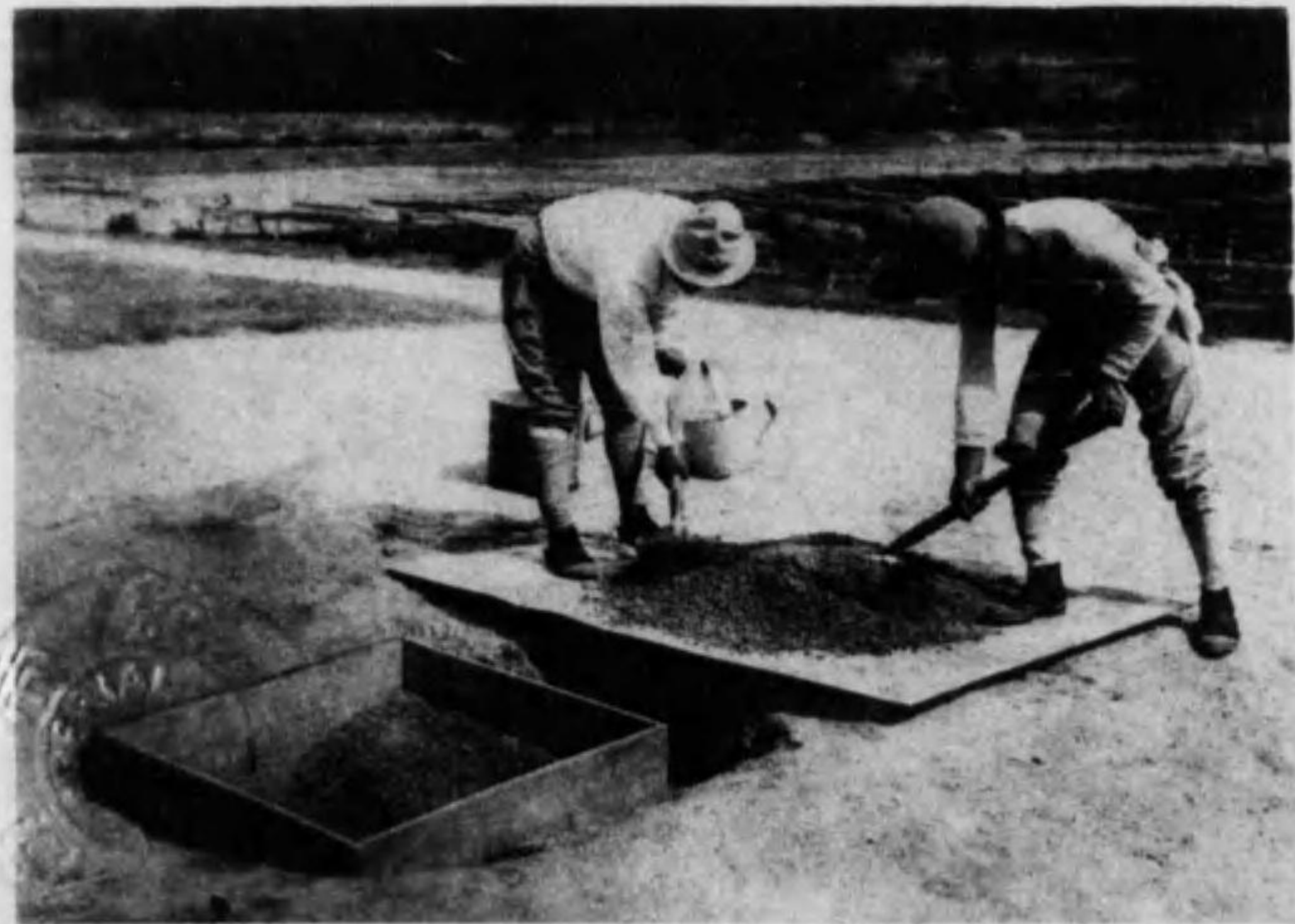


十部一の室書圖十





清涼里苗圃全圖景



種子の埋藏

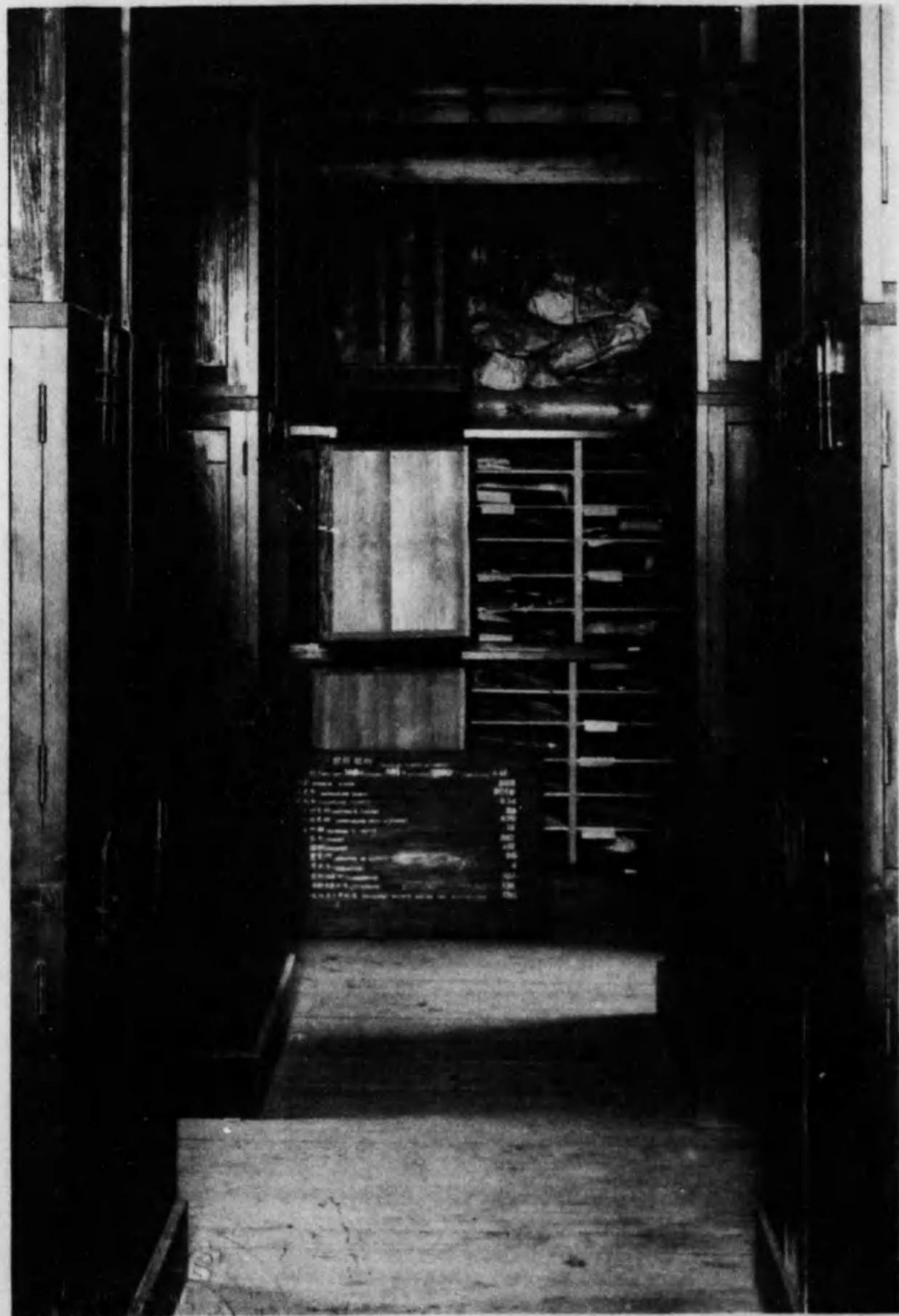


セウテマンツ苗養

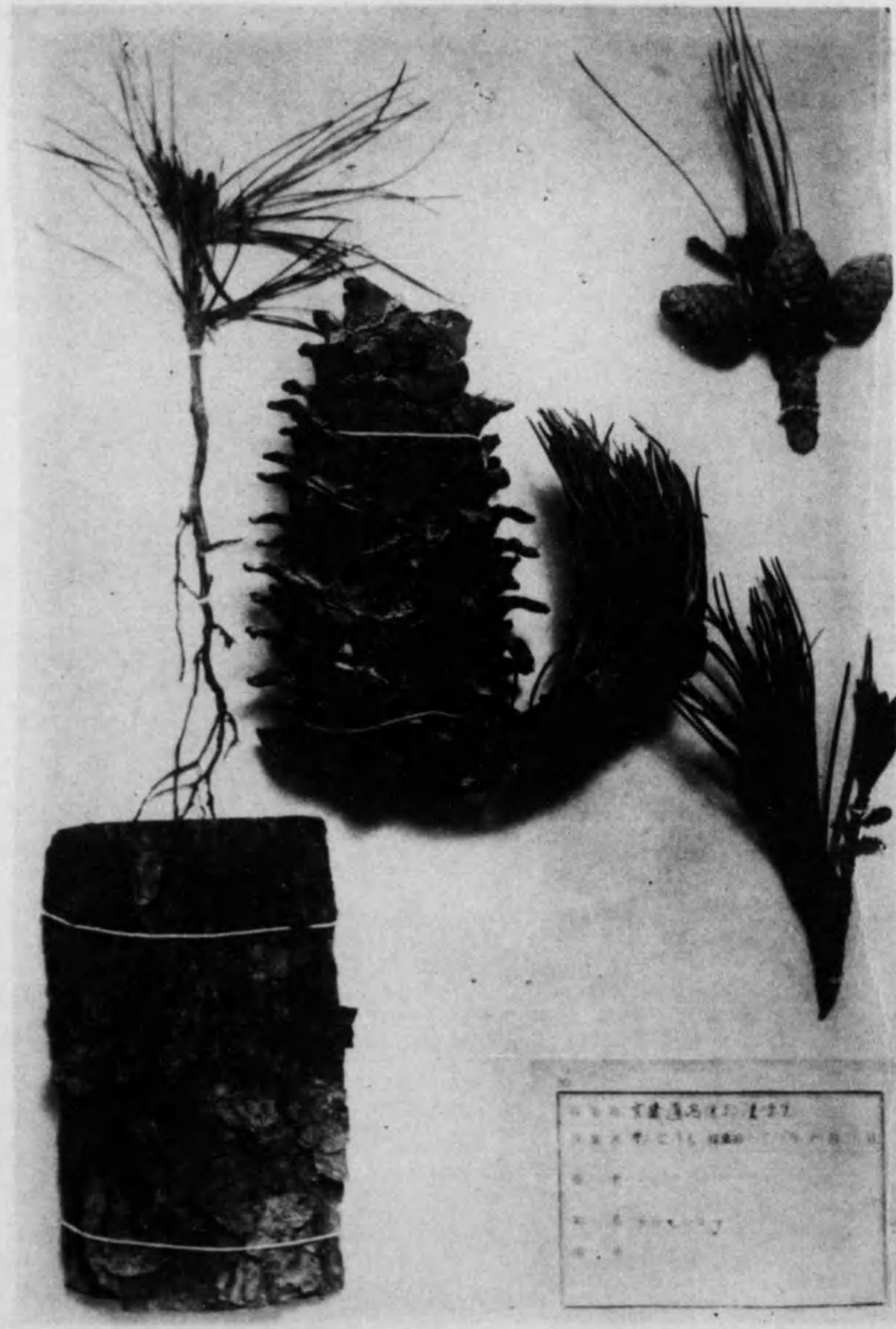
※ 部一の備設測観象氣 ※



◀ 臺測観象氣 ▶



◆ (點萬七木草) 部一の室木標葉暗 ◆



◆ 本 標 葉 暗 ◆

UNIVERSITY OF TORONTO LIBRARY

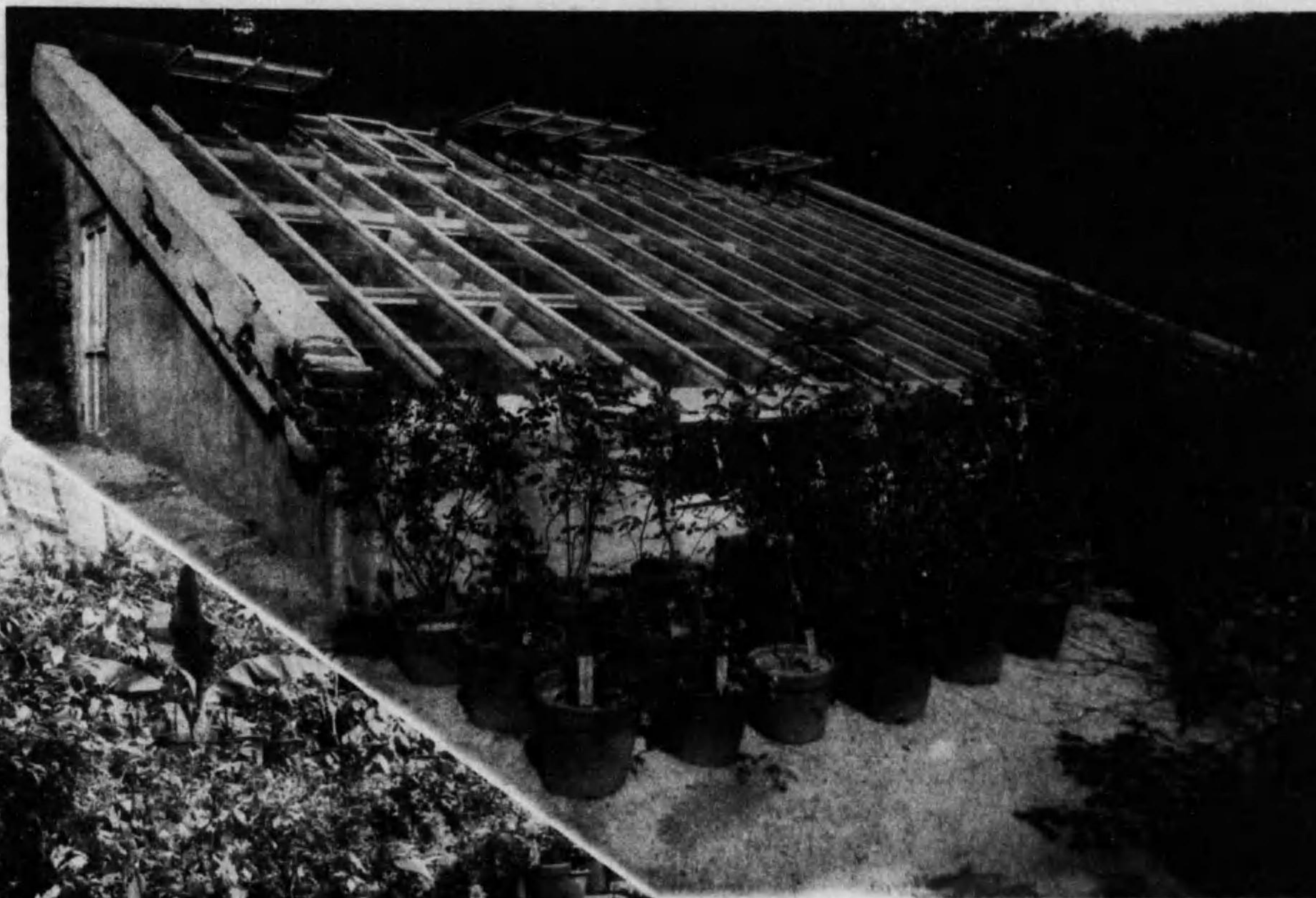
UNIVERSITY OF TORONTO LIBRARY

○ 2 ○
○ 3 ○
○ 4 ○
○ 5 ○

況狀培栽室溫の物植帶暖及帶熱

部一の内室温(1)

種〇一 産地内
種五一 産鮮朝
種二一 産國外

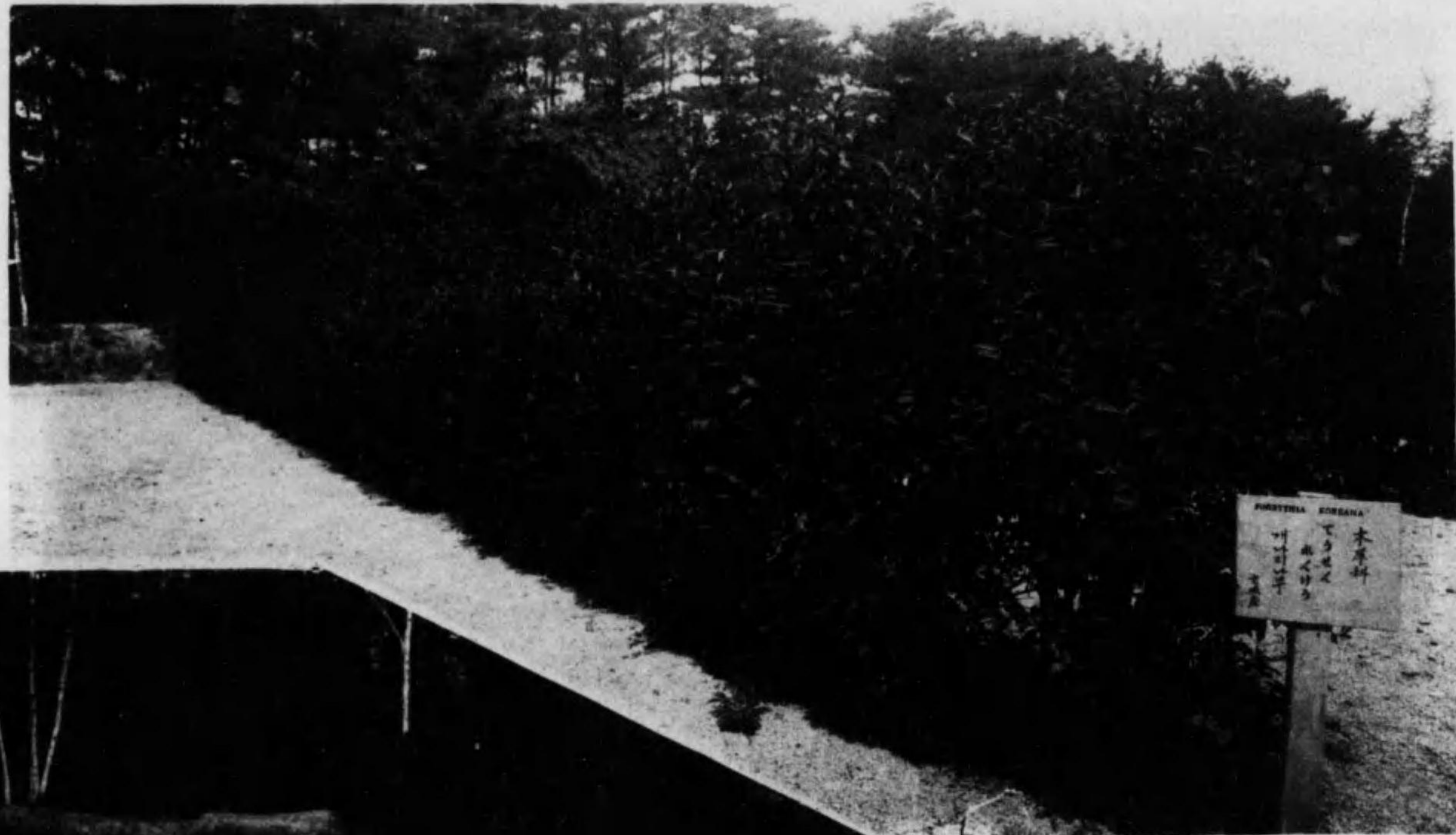


部一の外室温(2)

種五一 産地内
種六 産鮮朝
種九二 産國外



況状の一部一験試成造籬生



造低の米1さ高(1)

スナマハ、ギメレンセウア 里上列前
等シナリオフ



造中の米2さ高(1)

ウゲンレンセウア種樹



部一の林本見木樹

林木見木樹産鮮朝及産地内 (1)

種餘〇〇三産鮮朝、種一五一産地内

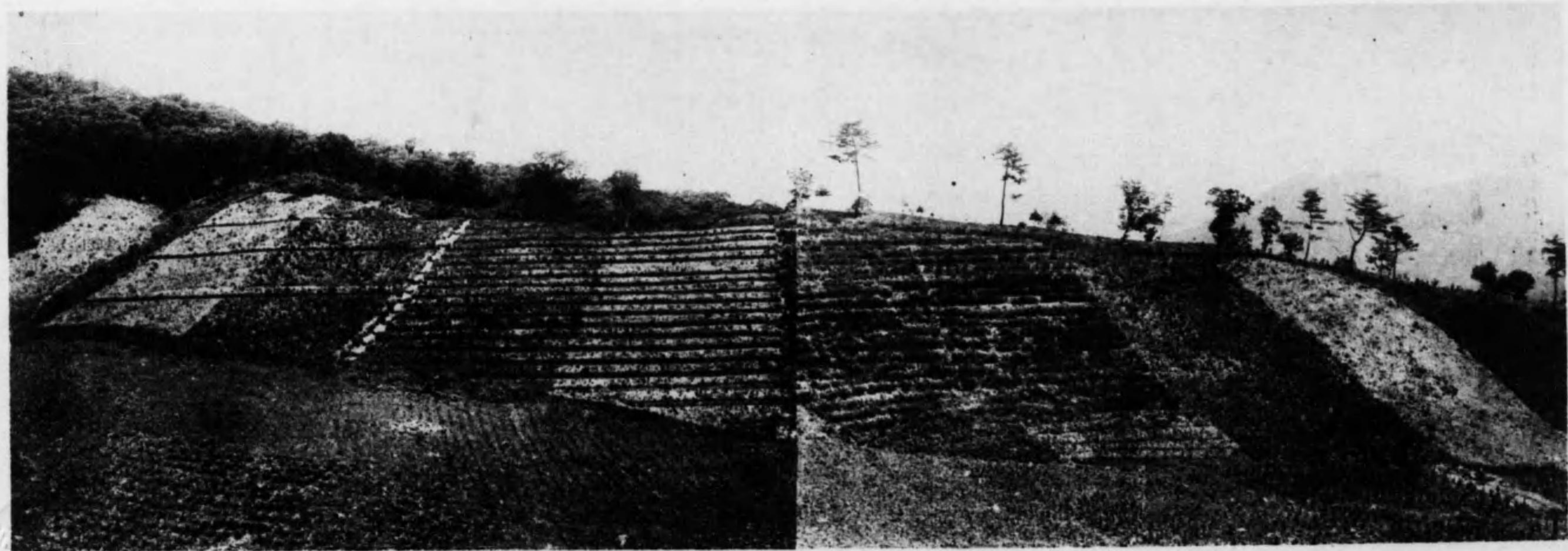


林木見木樹産國外 (2)

ビ華鉛、ンイマンコレオ、リよ列前
種二六外ヤシカアセニ、ンシクヤ

(内林院試院光)

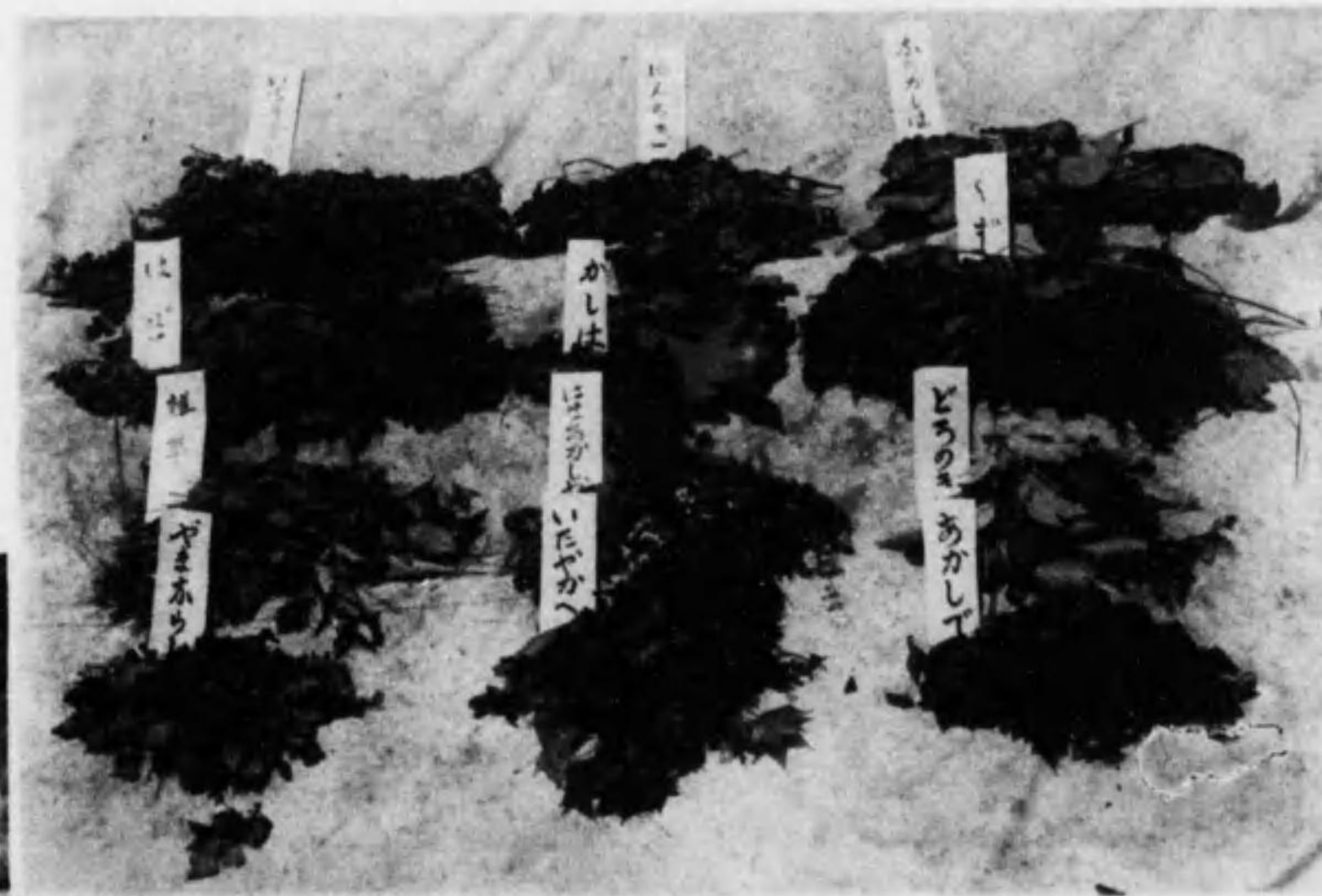
火 田 地 階 段 耕 作 試 驗 地



第一 斜 二 五 度 二 作 種 粟 馬 鈴 薯 三 試 驗 區 分

(端左) 寸芝張け設を段階の羅〇八幅に外内米〇一離距斜 區 畧 簡 (2) (左中央) 寸芝張け設を段階の羅〇八幅に外内米二離距斜 區 約 集 (1)
(端右) 事工無 區 準 標 (4) (右中央) 寸播實を藁に外内米五離距斜 區 播 實 藁 (3)

地験試較比值價効肥・肥綠産林るす對に稻水



肥綠産林試供

ハレガラナ .ズタ .キノロド .デレカア .樽筒
 ヘカヤタイ .ヤレカアセニ .ハシカ .キノソハ
 草籠 .レラナマヤ .ギハ .ギハナタイ .デ

0
4
0
0
0
0



□ 牧 放 の 牛 畜 □



◇ 較 比 の 値 價 料 飼 葉 樹 の 牛 畜 ◇

(郡徳大南忠於) 産 増 成 促 の 物 産 林 用 農



川利の尻法部蝕水麓山の依に栽植アシカアセ
(影撮月三年二十同栽植月四年一十和昭)



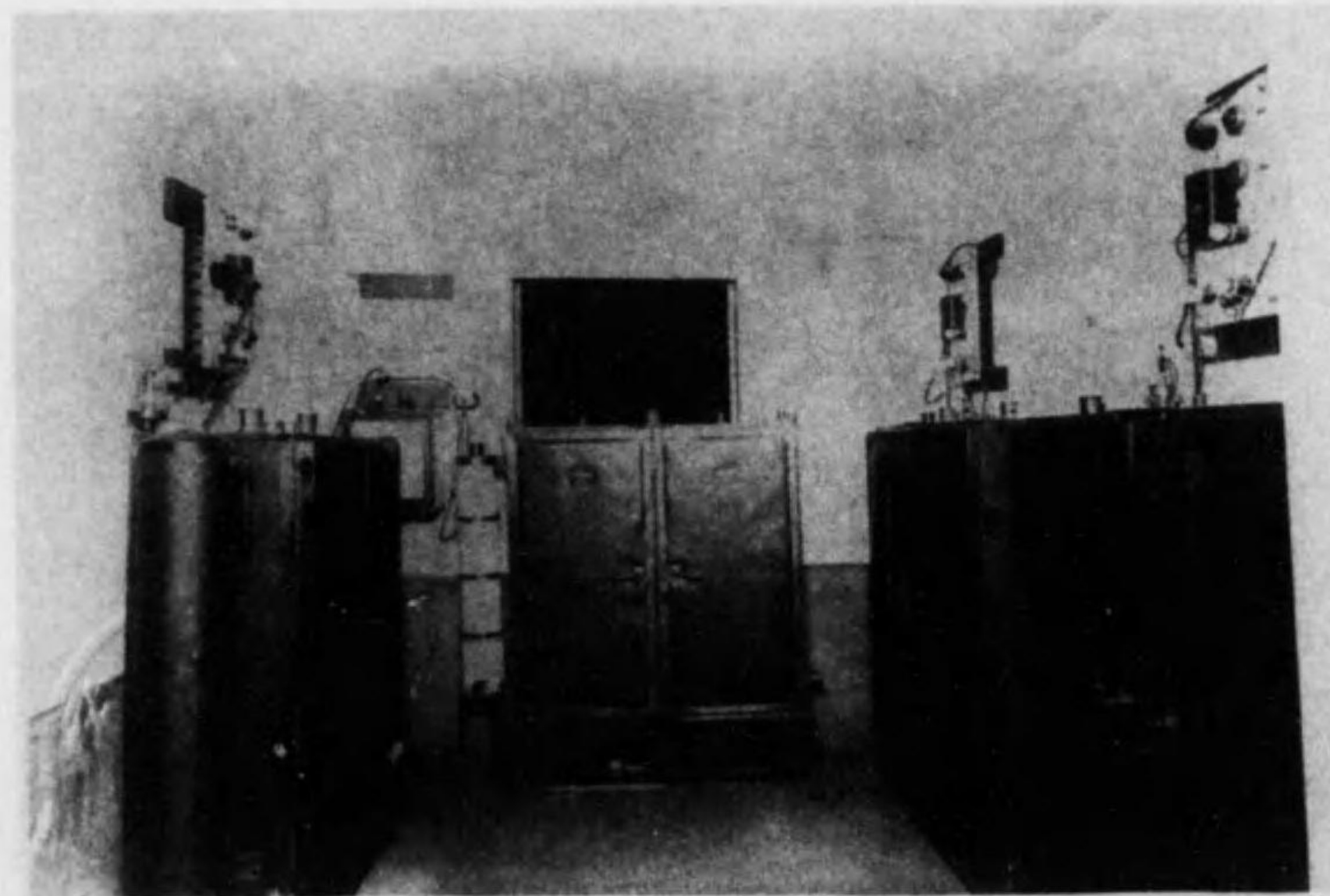
川利の面斜畔畦番田の依に木挿ギハチタイ
(影撮月三年二十同木挿月四年十和昭)



川利の所箇壞崩積面小る依に種播アシカアセニ
(影撮月三年二十同種播月四年一十和昭)



十 部 一 の 内 室 驗 實 子 種 十



◆ 室 驗 試 芽 發 ◆



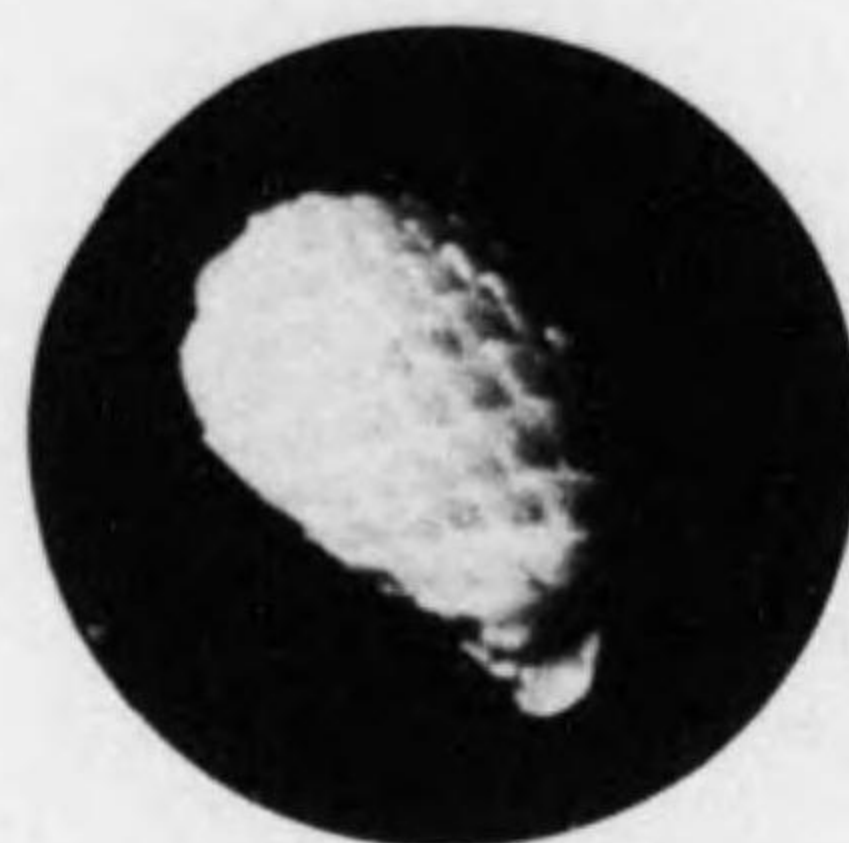
田 部 一 の 室 本 標 子 種 木 林 田

の 其 個 餘 萬 一 數 體 個 の 本 標 藏 所
リ べ 及 に 種 一 十 二 百 八 千 數 類 種

知 豫 實 結 の 子 種 木 林



古 左 右 5 × 芽 花 の ツ マ ラ カ ン セ ウ ナ



古 左 右 8 × 芽 花 の ベ ラ シ ウ タ



況 實 の 査 調 別 鑑 芽 花

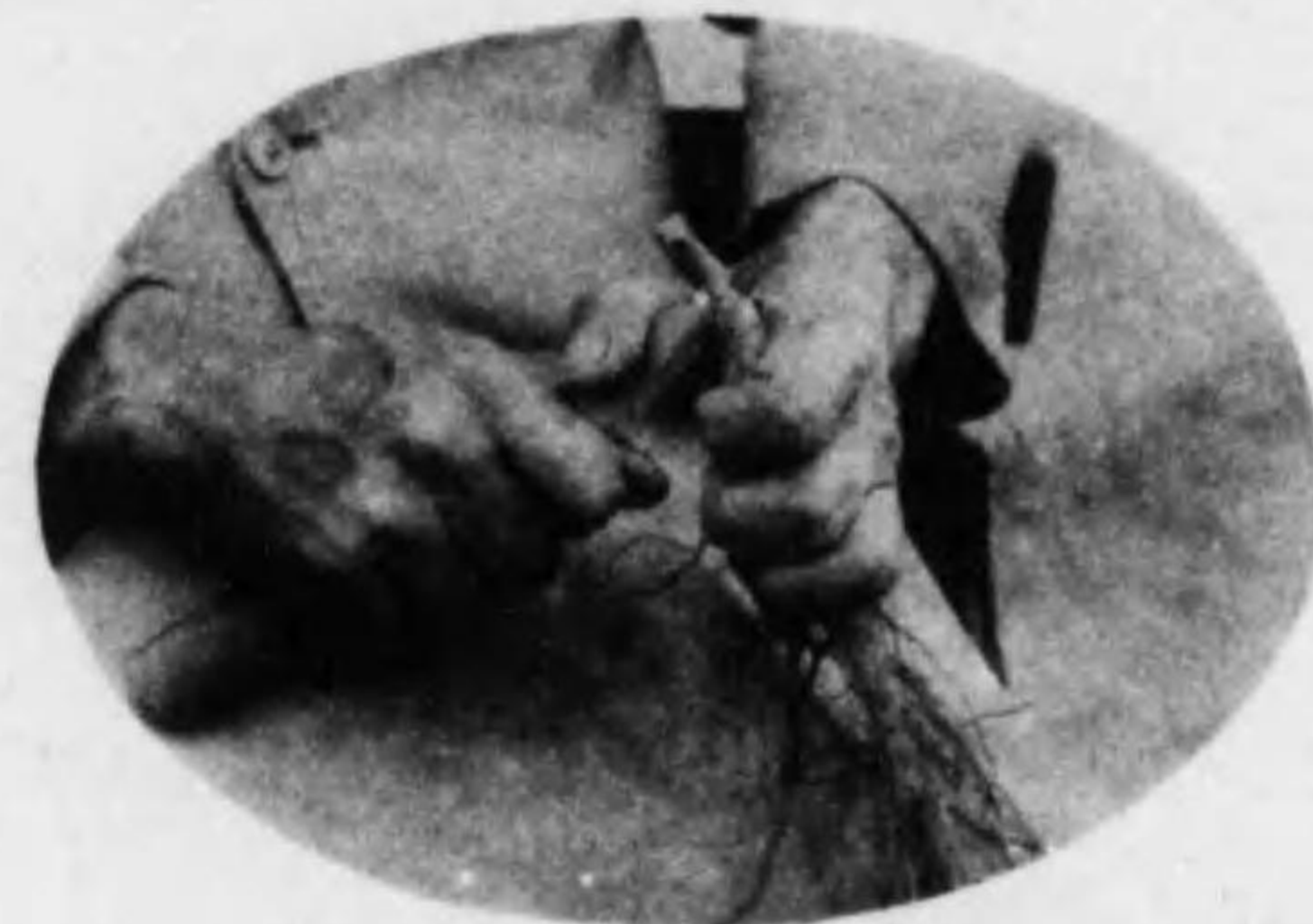


古 左 右 8 × 芽 花 の ツ マ ソ エ

活花に中芽冬の共に更はてり依に種樹てし而す成結と芽冬きべす舒開存型に既に種樹のく多げれ到に後前の熟成の子種秋
略大の實結花開の年翌り依にとるす査精と量量別性の活花の中芽冬き就に條技準標に故ずらか少のもるす了完を化分の
しべ得をるす知豫を



● 況狀育生るけ於に後年三施實接株の栗那支 ●



× み込切の木碇 ×



◆ 入挿の木穂 ◆



* 縛緊てに葉打 *



①



③



⑤



⑥

④



②

◇ 除 驅 及 害 被 の 松 ◇

明 説

部一の備設験試除驅燈蛾誘粘松 .1

査測績成の験試除驅巻葉の断粘松 .2

況状の

葉枝害被の蠶子倍五の松 .3

(熟完) 蟲幼の蠶子倍五の松 .4

種害被 .験試類種類松疫免蠶子倍五の松 .5

ツマカアは樹

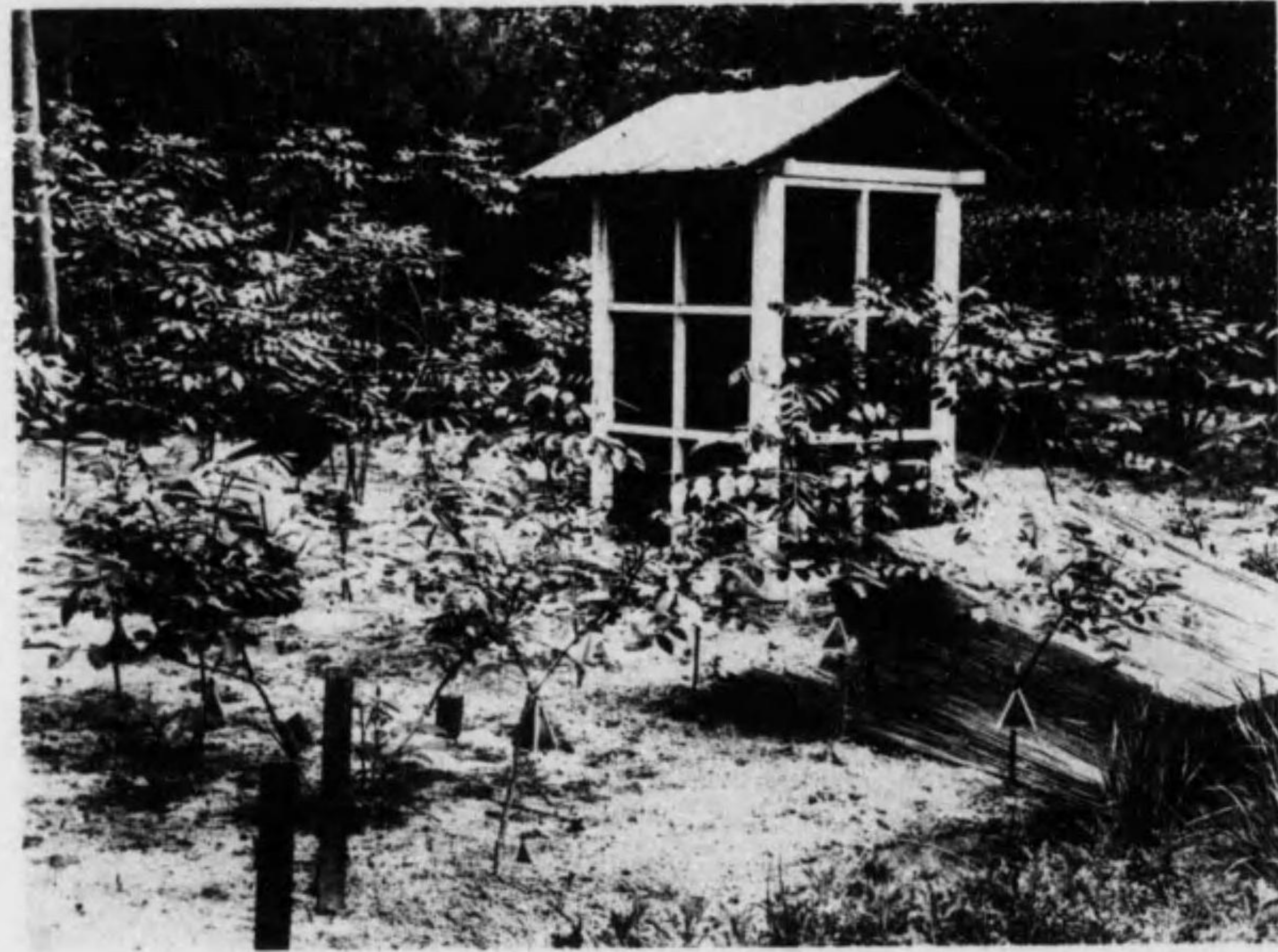
ツマブーロトスは樹種害被無

ツマンセウテは種樹害被無験試上同 .6

五倍子の工人増殖試験



1



3

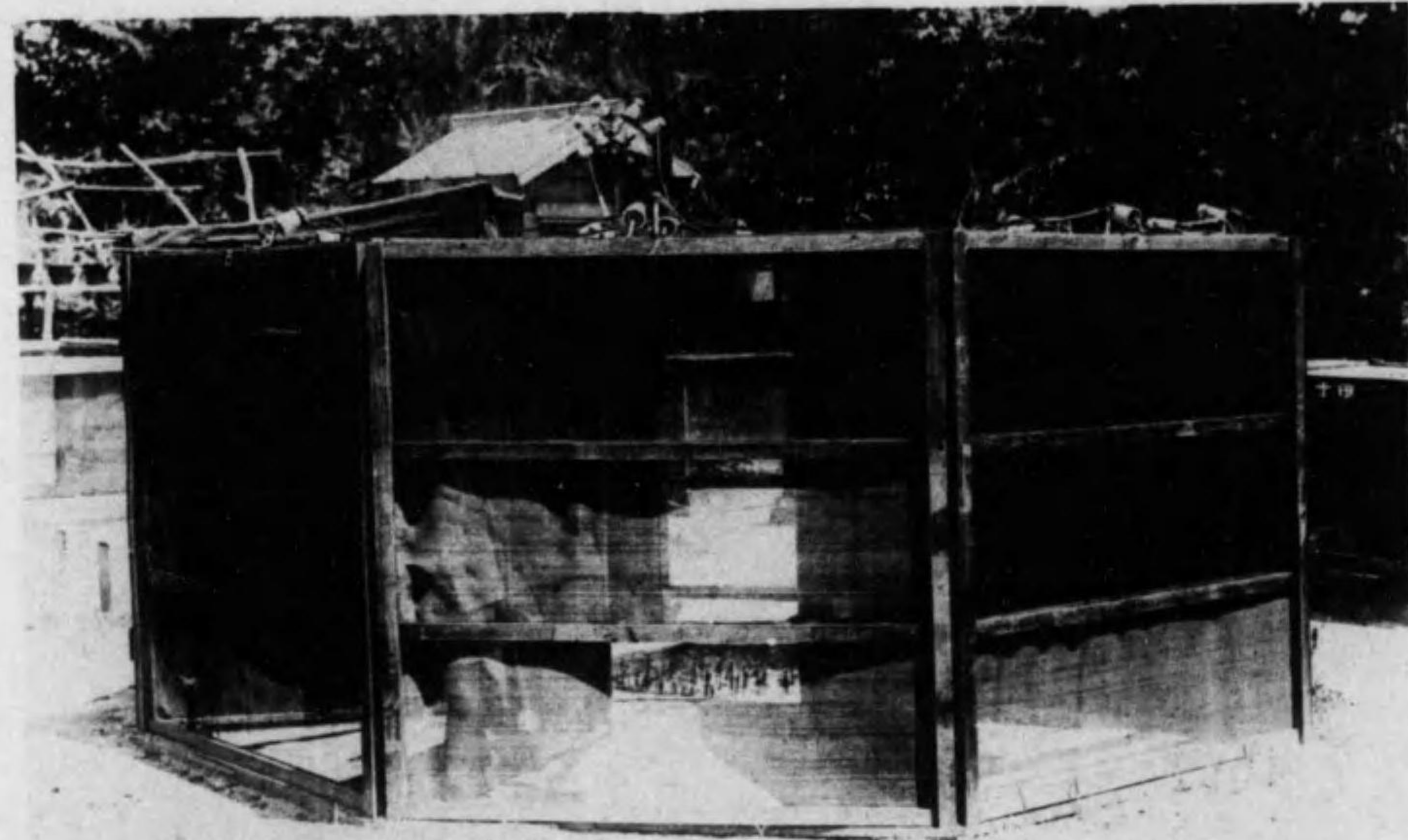


2

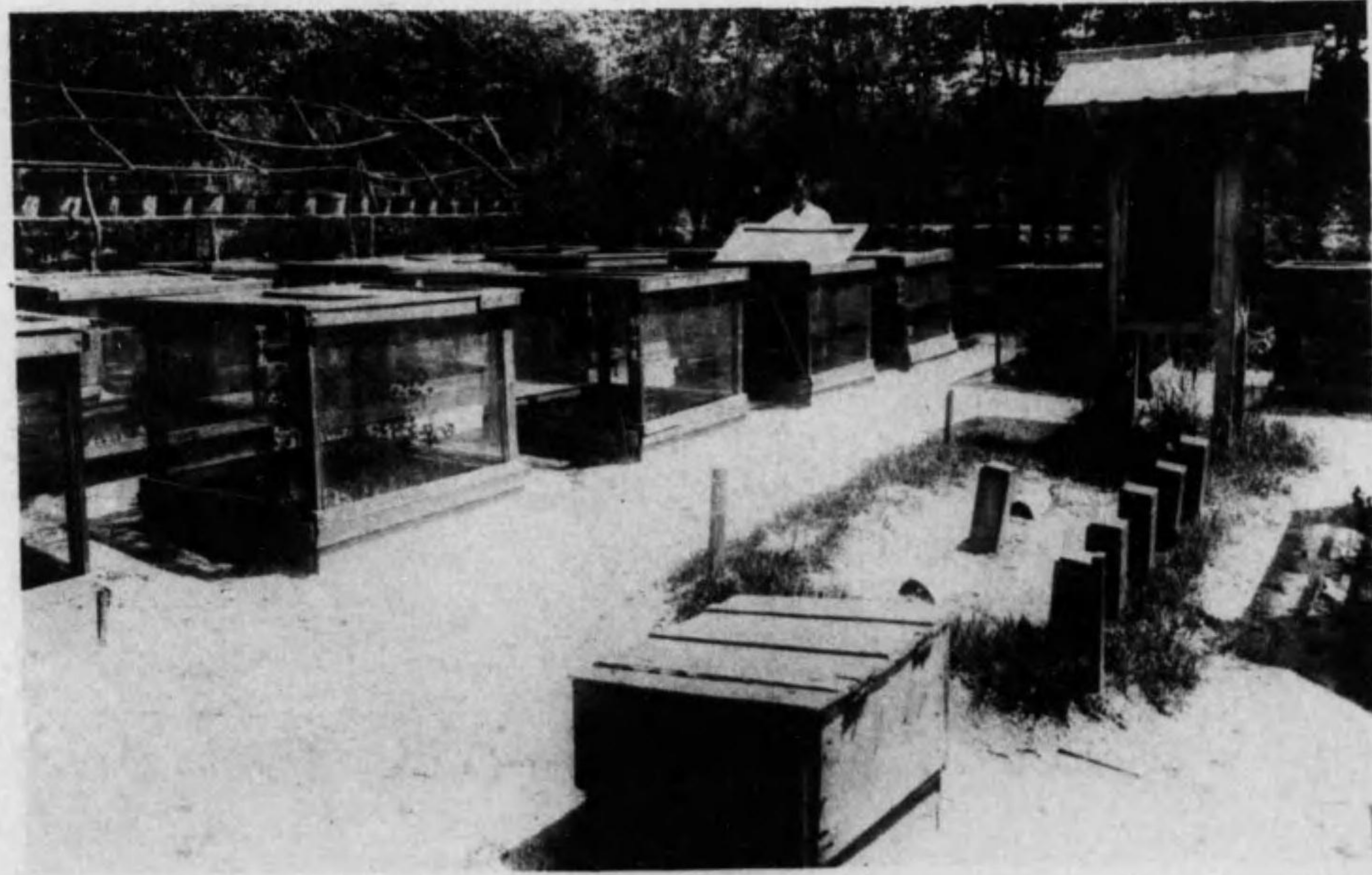
明 説

- 1. 五倍子の成虫発生状況 (子附耳) 五倍子子信子 .1
- 2. 五倍子子信子と秋季中寄主(ケゴボツコ)主寄主 .2
- 3. 状況下播にシフミノ下接種試験 .3

◎ 驗 試 除 驅 子 龜 金 ◎



● 區 驗 試 木 苗 害 被 ●

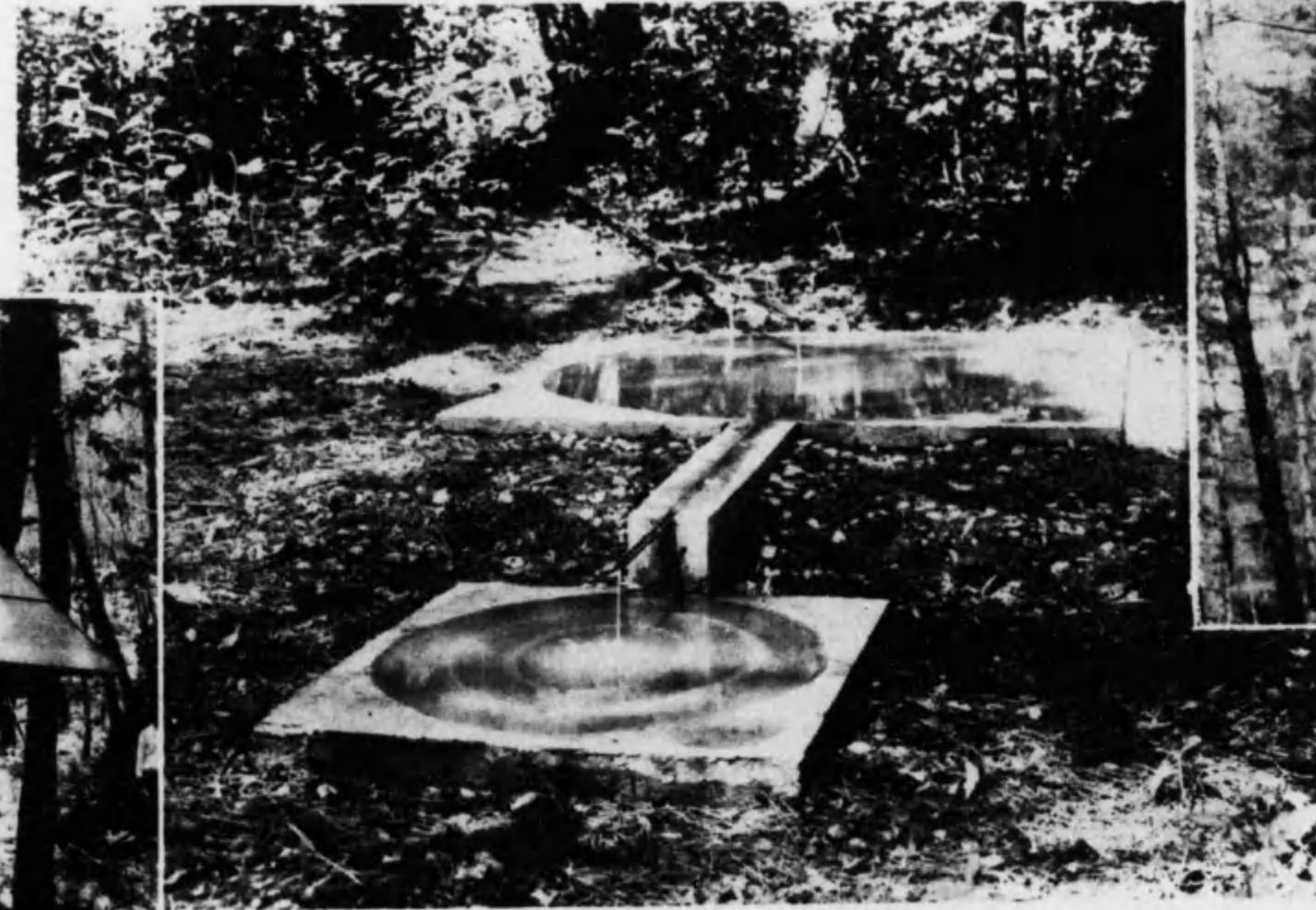


▣ 備 設 燈 蛾 誘 別 光 色 ▣

◆ 鳥類保護試驗 ◆
(本場帶内)



● 給飼設備 ●



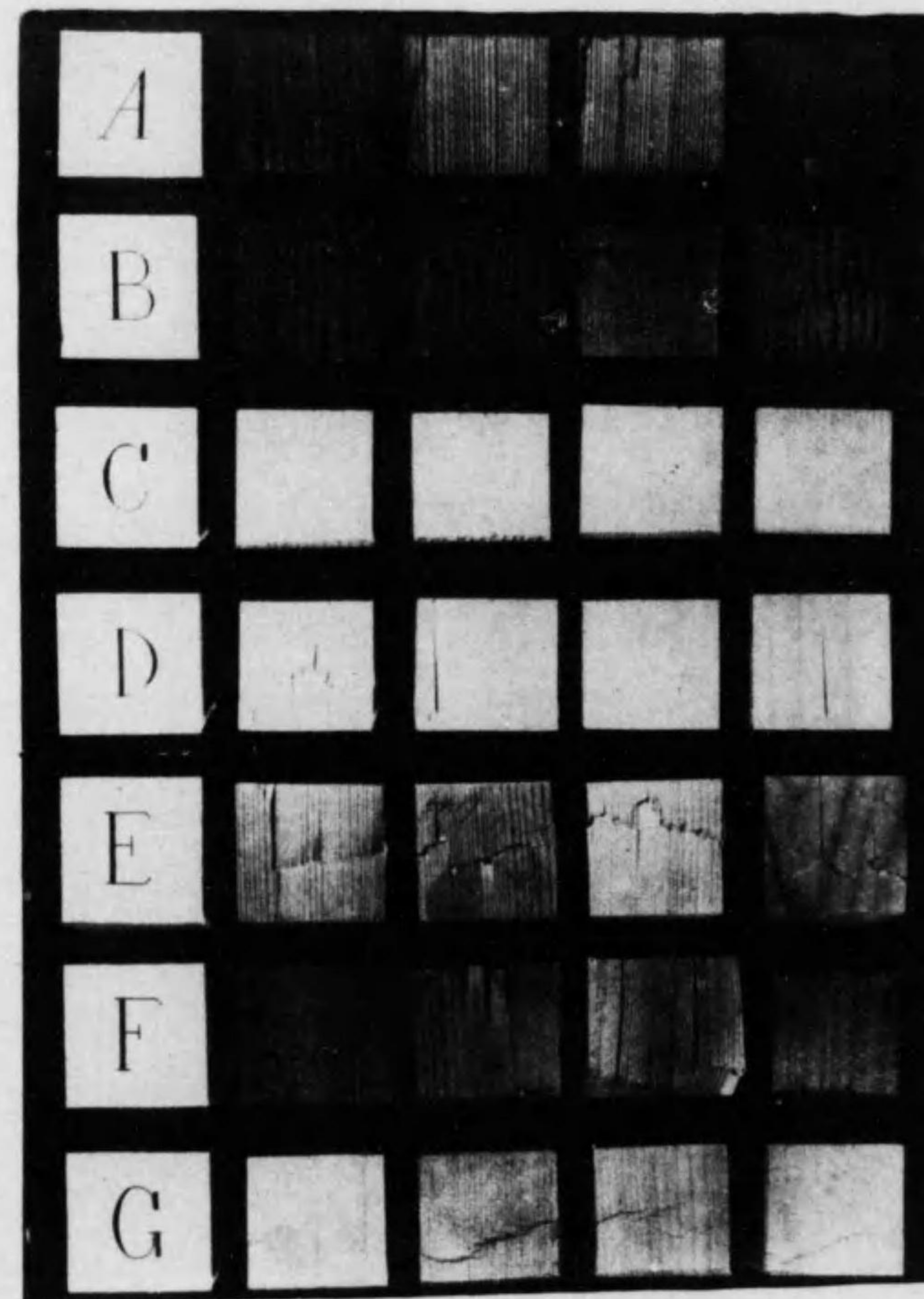
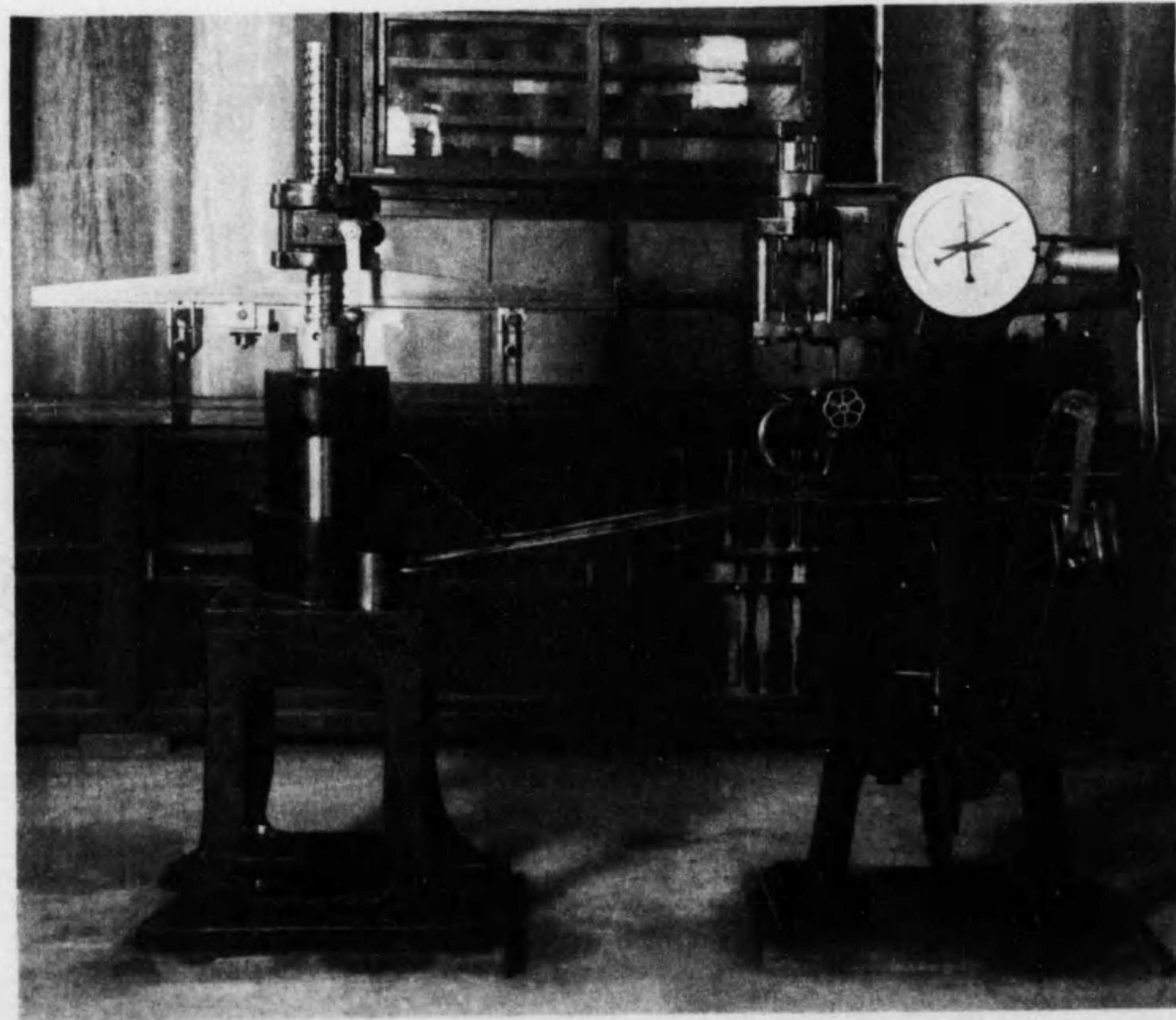
◆ 給水並浴設備 ◆



▶ 巢箱取付状況 ◀

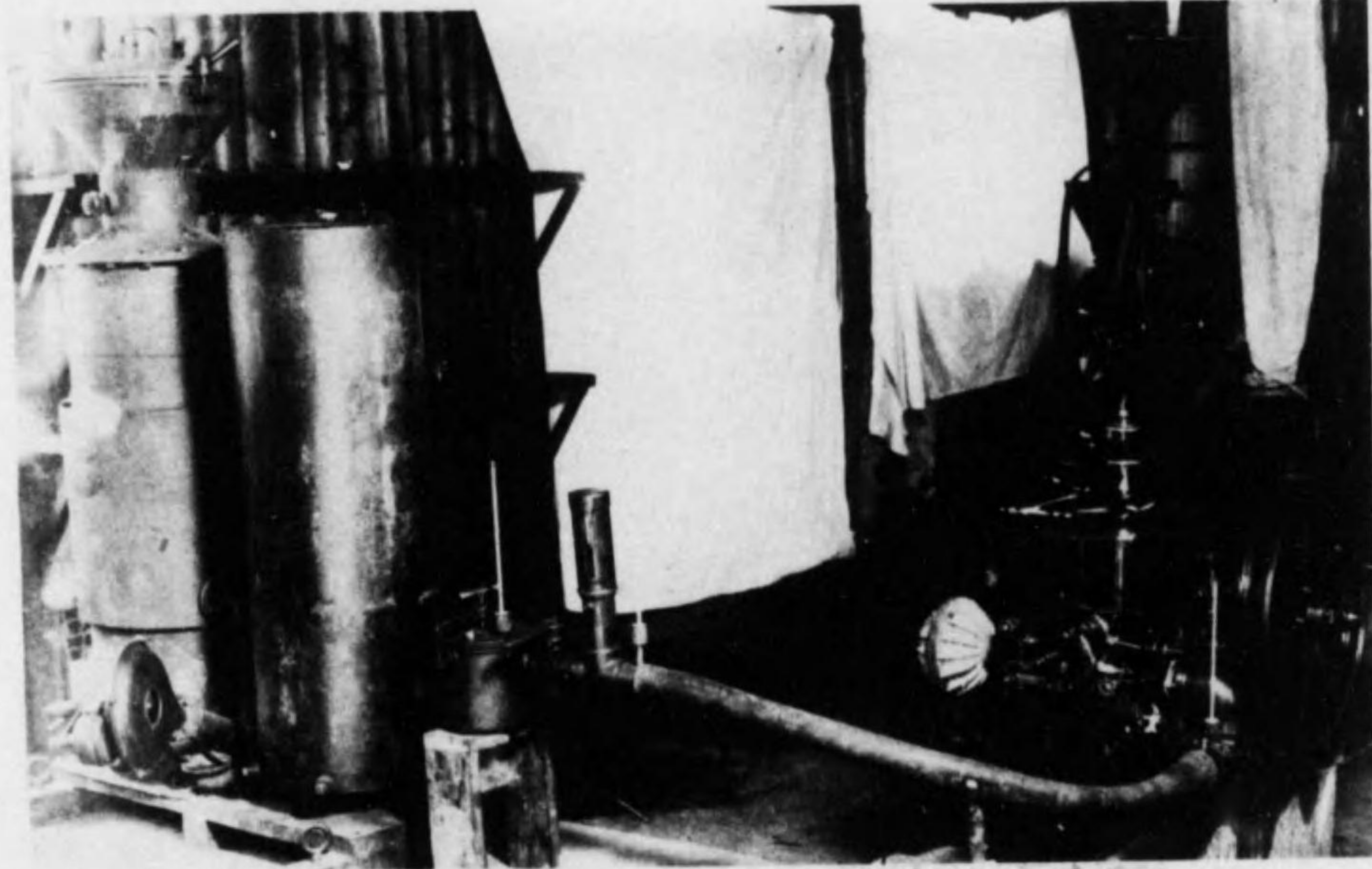
○
○
○
○
○
○
○
○

☆ 木材強弱試験機械 ☆



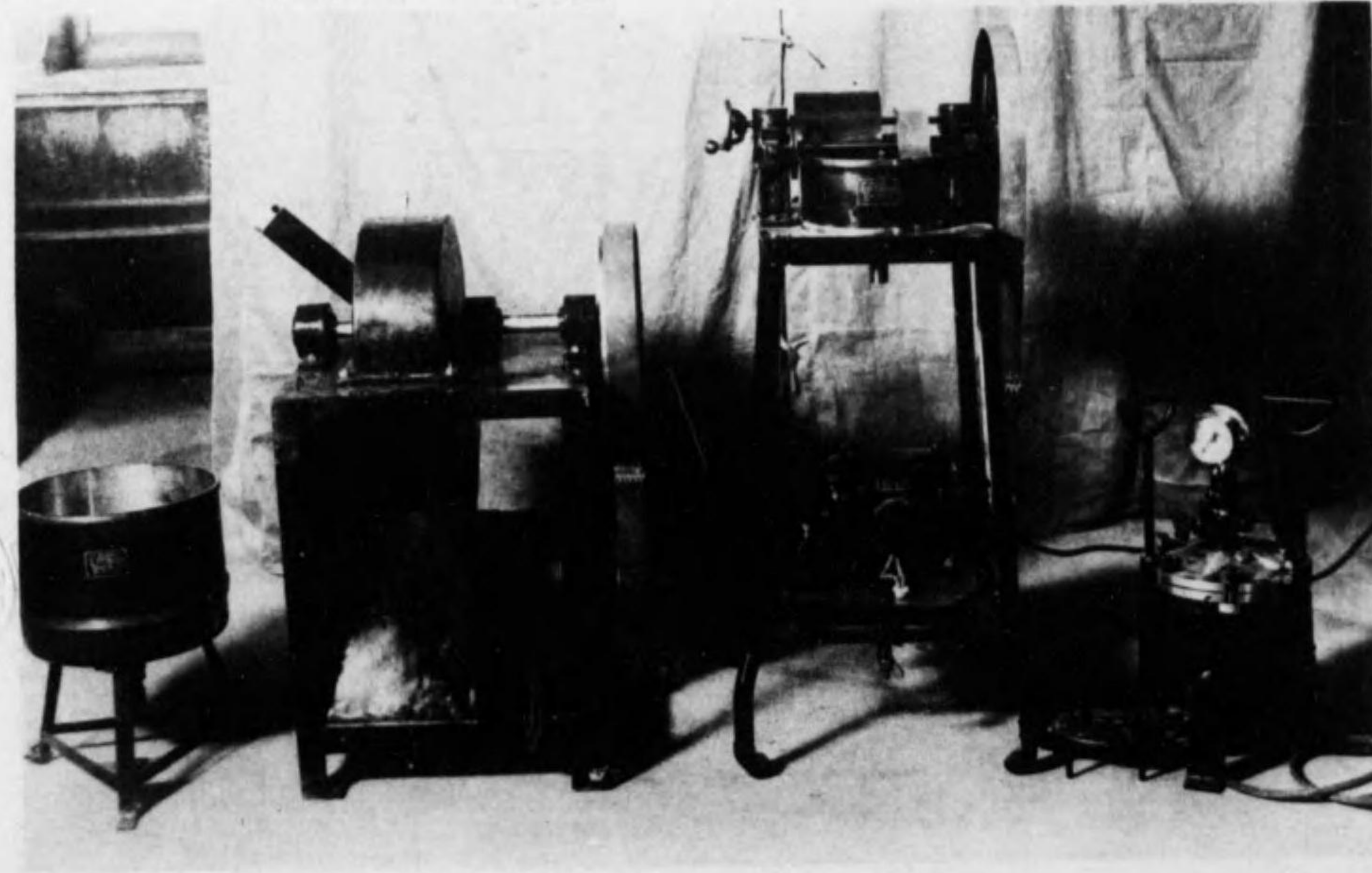
◇ 破壊状態の状況 ◇

- | | | |
|----------|-------------------|----|
| ツマラカンセウテ | のもるけ裂に縦てふ沿に輪年が線壊破 | 型A |
| | 以を度角るあは又角直に輪年が線壊破 | 型B |
| ツマラカンセウテ | のもるす錯交て | |
| | に方一かれ何の其は又口木兩が線壊破 | 型C |
| ミモリハンセウテ | のもるは現 | |
| ベラシウタ | のもる依にせ合組の型三C及B、A | 型D |
| ミモリハンセウテ | のもる依にせ合組の型二B及A | 型E |
| ツマラカンセウテ | のもる依にせ合組の型二C及A | 型F |
| ツマゾエ | のもる依にせ合組の型二C及B | 型G |

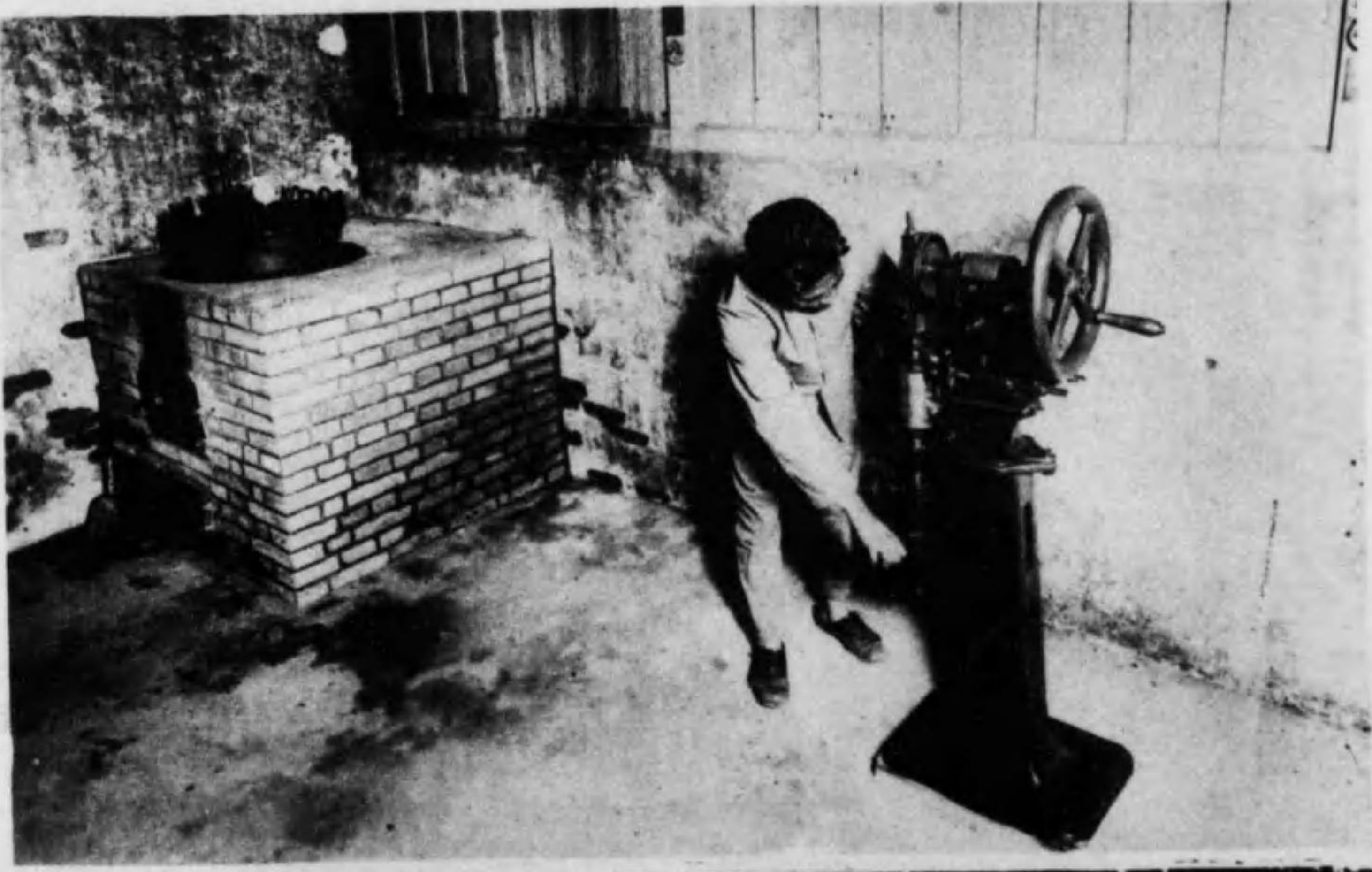


ト 機生發斯瓦炭木 ト

備設驗試フルバト



☆ 置 装 詰 鐘 ☆



高
屋
釜

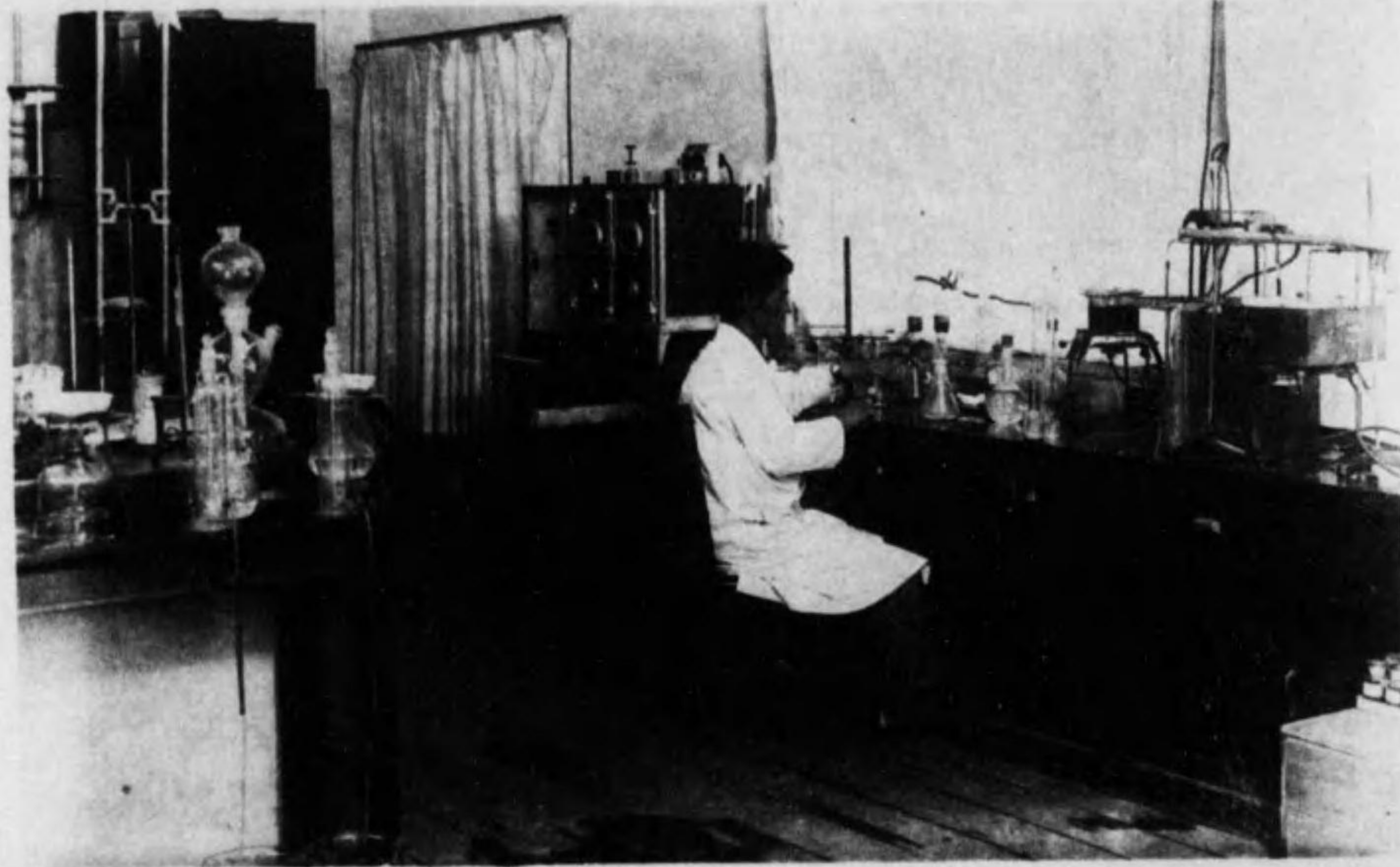
(巻
締
機
械)



☒ 況 状 生 發 け た き の え ☒



◆ 況 状 生 發 茸 椎 ◆



森林化学実驗室



漆液採取状況
(内地株式会社)



ツマダギリ松脂採取状況
(斜溝一式名器式)



◆ 況狀皮剝皮樹キマベア ◆

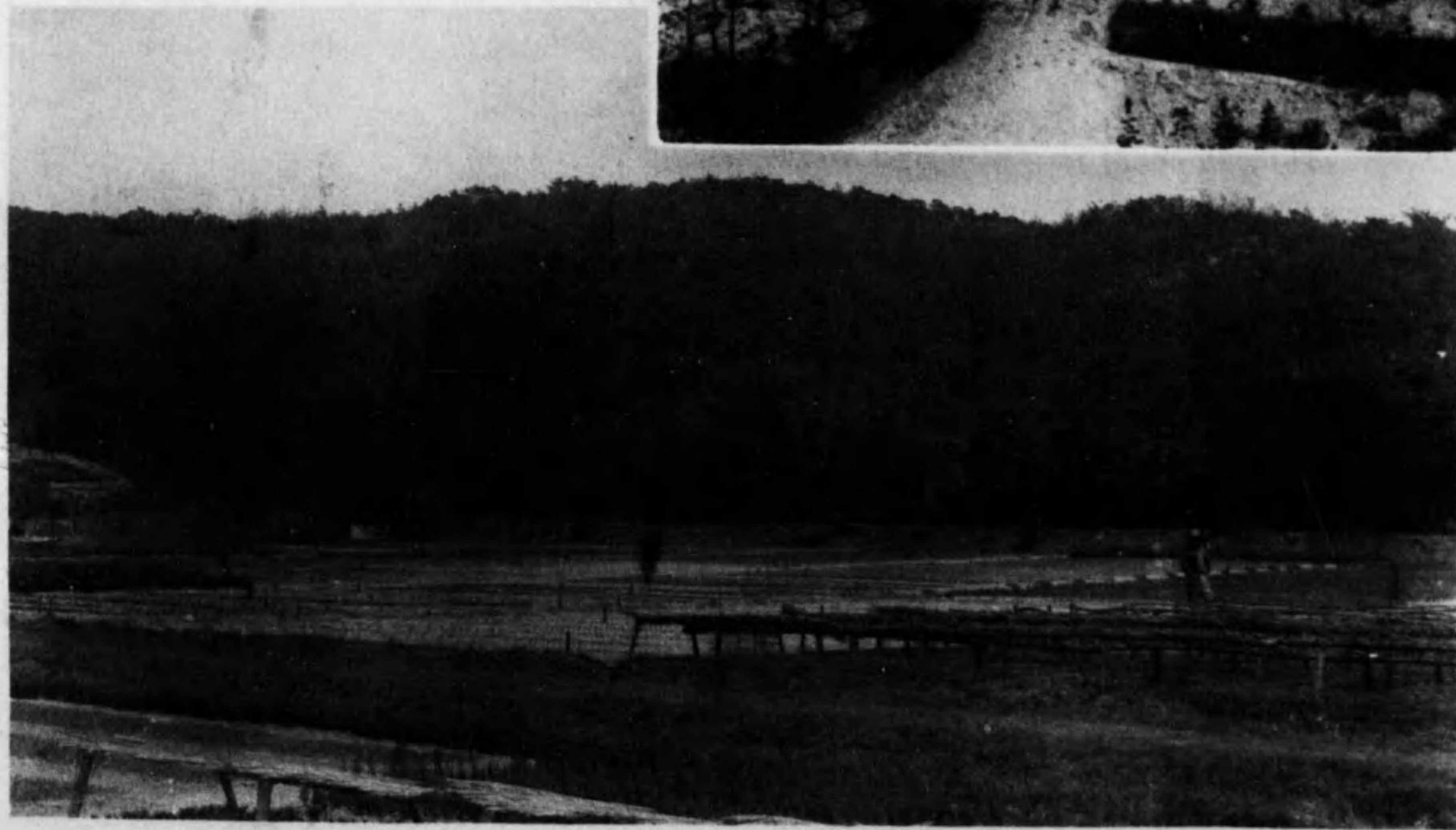
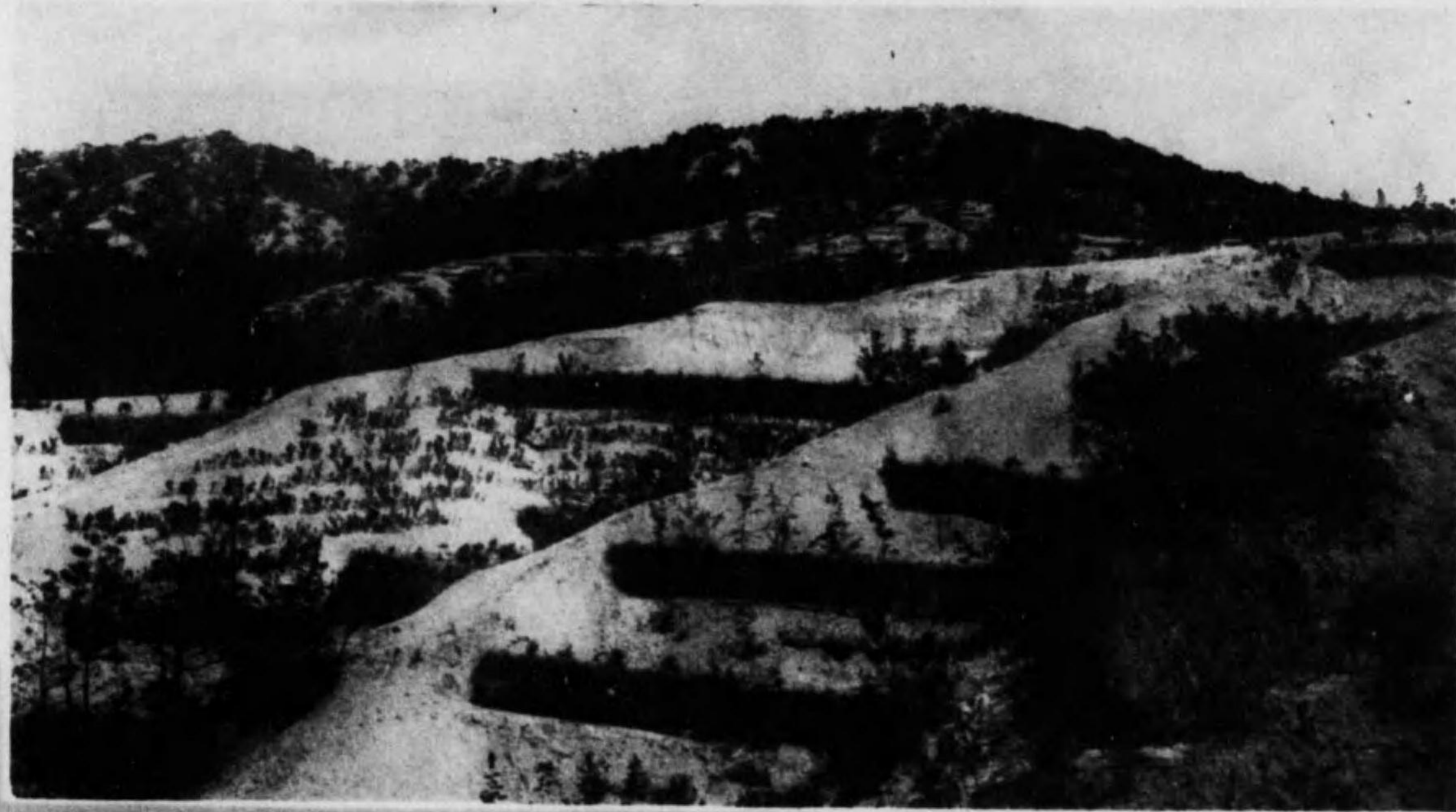
◆ (宮崎光) 窯 炭 製 ◆



(圖 斷 縦)

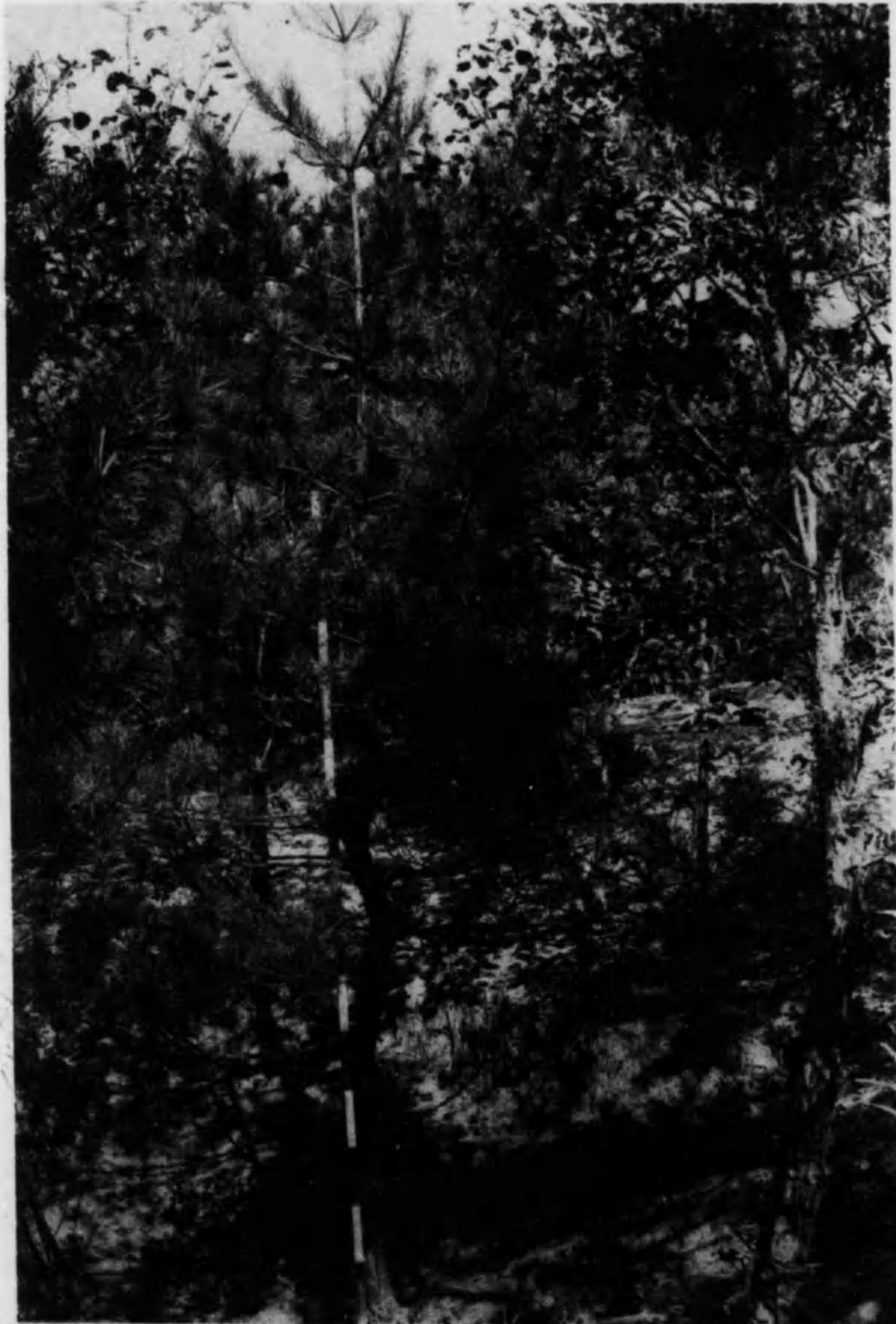
(中 化 炭)

☆ (内構場本) 相林の時當行施林造防砂 年三十正大 ☆



✦ 相林るけ於に月五年二十和昭るた經を年四十後行施林造防砂 ✦

(内構場本) 象現り返若のツマカアる依に植混木料肥



行賞月四年一十正大 地植混きのんはまや 斗
 三三 八 徑直高胸 年九十四 齡 樹
 八七米一 長生の間年四近最 五四米五 高 樹



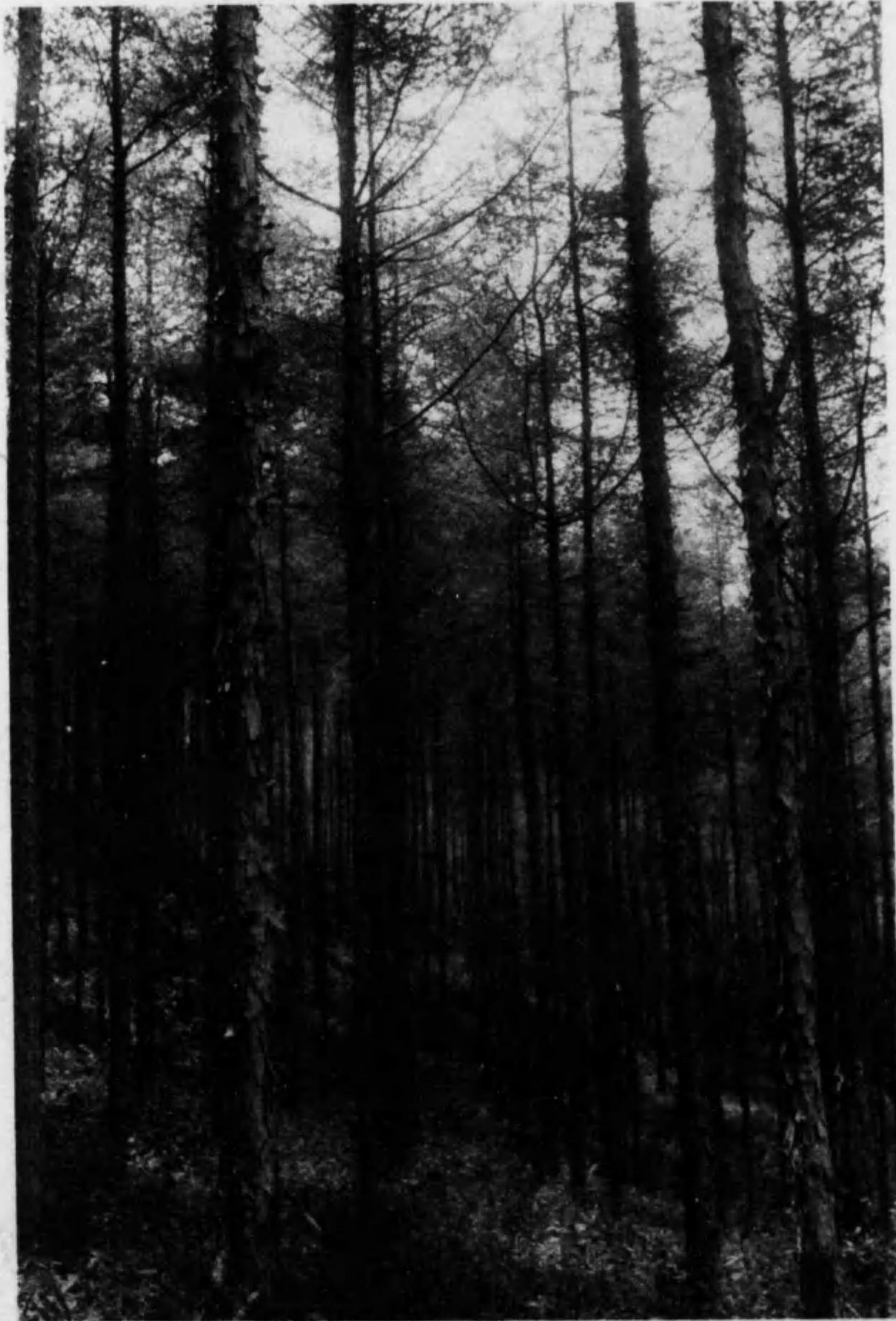
行賞月四年三十正大 地植混きのんはやりべし 米
 六 九 徑直高胸 年二十四 齡 樹
 〇六米三 長生の間年四近最 五六米六 高 樹



行賞年二和昭 地植混ぎはまやみ
 種 五 徑直高胸 年五十三 齡 樹
 八八米一 長生の間年四近最 六八米三 高 樹



地種播やしあせに 内構場験試業林
 八種六 徑直高胸 行賞月四年一十正大
 三一米二 長生の間年四近最 生年一十二約 齡 樹
 ○三米四 高 樹



○ 地林造ツマラカンモウテ (2) ○

○七六・二 數本當陌一 米六・四一 高均平 栽植月四年七正大 班林八 林驗試陵光
 上位地 二三・一 度木立 米方立三・七 積材 種一 徑直均平林主 年九 齡林



◆ 地林造ツマラカ種地内 (1) ◆

五七五・一 數本當陌一 米三・七一 高均平 栽植月四年七正大 班林七一 林驗試陵光
 上位地 四三・一 度木立 米方立三・八七二 積材 種四・六一 徑直均平木林主 年二二 齡林



Ⅲ 地林造ツマダギリ (2) Ⅲ

本〇七六 数本當陌一 米五一 均平 栽植月四年四正大 班林八三 林験試陵光
米方立七七一 積材 種八一 徑直均平本林 年二二 齡林



✦ 地林造ツマンセウテ (1) ✦

本七六六・三 数本當陌一 米一・八 高均平 栽植月四年九正大 班林五一 林験試陵光
米方立八四一 積材 種七・〇一 徑直均平本林 年七一 齡林

○
○
○
○
○
○
○
○

地林造種播ツマンセウテ

* 林 驗 試 陵 光 (2) *

年七 齡林 種播月四年五和昭 班林九三
米六・二高均平
栽植を苗生年三年同はるえ見に狀帶方左)
(りなのもるたし



□ 林 驗 試 陵 光 (1) □

年三 同 種播月四年二和昭 班林二三
米・四四 高均平 年九 齡林 植補月四

○

・

○

○

・

○

α 地林造種播ツマカア (2) α

種播月四年五和昭 班林九三 林驗試陵光
米五・二 高均平 年七 館林



◇ 地林造種播ツマロクウシンマ (1) ◇

種播月四年五和昭 班林九三 林驗試陵光
米〇三・二 高均平 年七 館林



地 驗 試 新 更 然 天 ツ マ シ セ ウ テ



≡ 區 伐 擇 (2) ≡

採伐月九年九和昭 班林〇四 林驗試陵光



≡ 區 伐 劃 (1) ≡

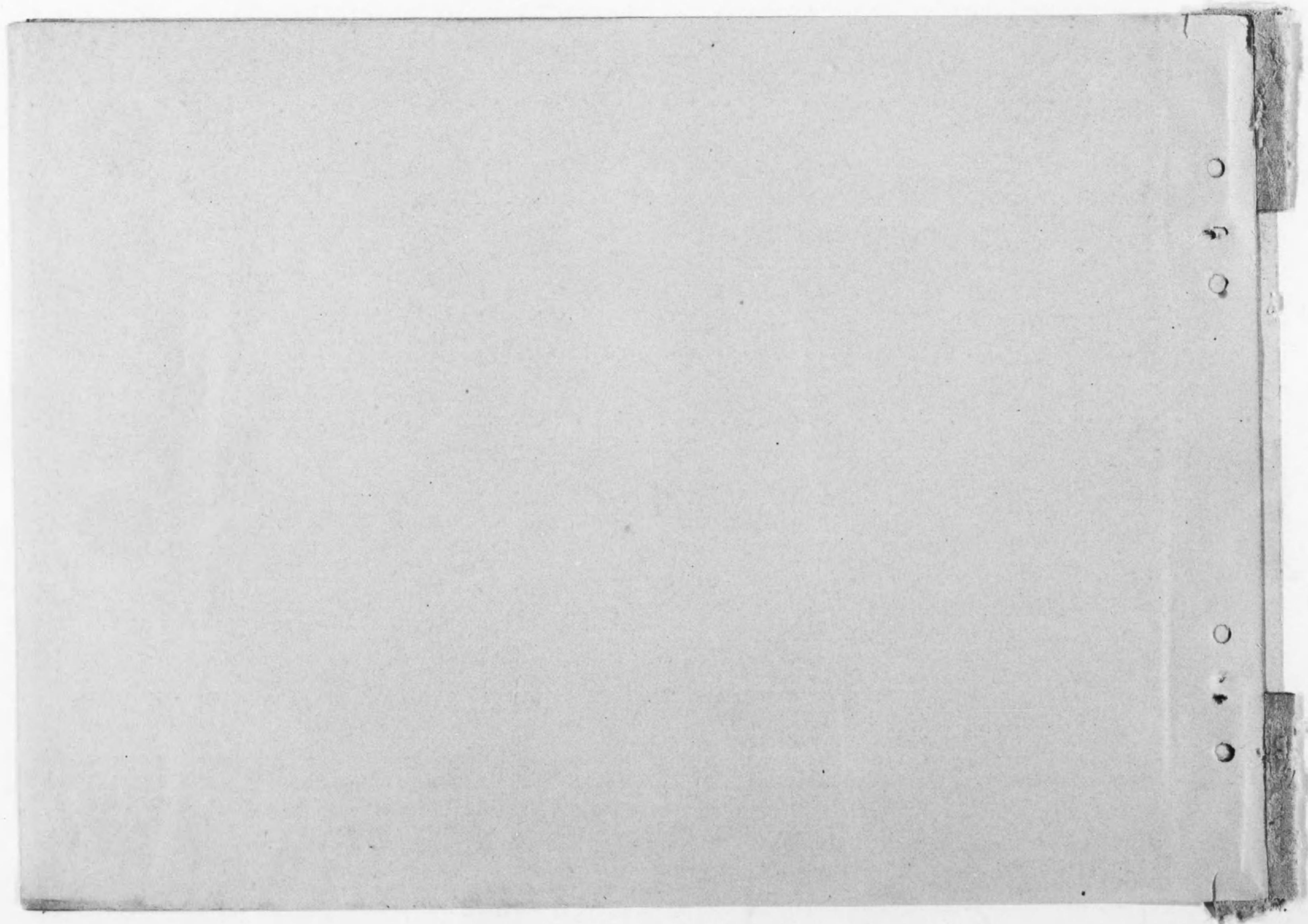
採伐月九年九和昭 班林〇四 林驗試陵光

昭和十二年八月二十日印刷
昭和十二年八月二十五日發行

朝鮮總督府林業試驗場

京城府蓬萊町三ノ六二番地

印刷所 朝鮮印刷株式會社



67
535

終